

株式会社秋田放送  
 アメリカン・モーション・ピクチャー・アソシエーション・オブ・ジャパン  
 伊藤忠商事株式会社  
 株式会社イマジカデジタルスケープ  
 株式会社IMAGICA Lab.  
 一般社団法人映画産業団体連合会  
 一般社団法人衛星放送協会  
 公益社団法人映像文化製作者連盟  
 エイベックス株式会社  
 株式会社ADKエモーションズ  
 株式会社エスピーオー  
 株式会社NHKエンタープライズ  
 NBCユニバーサル・エンターテイメントジャパン合同会社  
 大蔵映画株式会社  
 一般社団法人外国映画輸入配給協会  
 株式会社KADOKAWA  
 株式会社カプコン  
 株式会社キネマ旬報社  
 株式会社キノフィルムズ  
 ギャガ株式会社  
 キングレコード株式会社  
 株式会社クオラス  
 株式会社講談社  
 株式会社コーエーテクモゲームス  
 コダック合同会社  
 株式会社コナミデジタルエンタテインメント  
 一般社団法人コンサートプロモーターズ協会  
 一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会  
 埼玉県 彩の国ビジュアルプラザ  
 株式会社SANKYO  
 株式会社サンライズ  
 株式会社サンリオ  
 松竹株式会社  
 株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス  
 一般社団法人セガサミー文化芸術財団  
 全国興行生活衛生同業組合連合会  
 一般社団法人全日本テレビ番組製作社連盟

ソニーPCL株式会社  
 株式会社ソニー・ピクチャーズエンタテインメント  
 株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント  
 株式会社第一興商  
 高津装飾美術株式会社  
 有限会社ティアーアイ・コムネット  
 株式会社TBSテレビ  
 株式会社ティークワイリミテッド  
 一般財団法人デジタルコンテンツ協会  
 株式会社デジタルSKIPステーション  
 株式会社手塚プロダクション  
 株式会社テレビ朝日  
 株式会社テレビ東京  
 株式会社電通  
 東映株式会社  
 東映アニメーション株式会社  
 東映ラボ・テック株式会社  
 東宝株式会社  
 学校法人東放学園 東放学園専門学校  
 東宝東和株式会社  
 株式会社東北新社  
 株式会社トーセ  
 株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズ  
 株式会社ドリーミュージック  
 中日本興業株式会社  
 名古屋テレビ放送株式会社  
 日活株式会社  
 株式会社日経BP  
 日本アカデミー賞協会  
 日本アニメーション株式会社  
 協同組合日本映画製作者協会  
 一般社団法人日本映画製作者連盟  
 一般社団法人日本映画テレビ技術協会  
 一般社団法人日本映像ソフト協会  
 一般社団法人日本音楽制作者連盟  
 日本コロムビア株式会社  
 日本テレビ放送網株式会社

一般社団法人日本動画協会  
 一般社団法人日本民間放送連盟  
 一般社団法人日本レコード協会  
 株式会社博報堂  
 株式会社バップ  
 びあ株式会社  
 株式会社5  
 株式会社フジテレビジョン  
 特定非営利活動法人ブロードバンド・アソシエーション  
 ブロードメディア株式会社  
 ホクエツ印刷株式会社  
 株式会社ポケモン  
 株式会社ポニーキャニオン  
 株式会社ホリプロ  
 武蔵野興業株式会社  
 ユニバーサルミュージック合同会社  
 吉本興業ホールディングス株式会社  
 讀賣テレビ放送株式会社  
 一般社団法人ライセンスングインターナショナルジャパン  
 株式会社ラパン  
 リード エグジビション ジャパン株式会社  
 琉球放送株式会社  
 株式会社ワーナーミュージック・ジャパン  
 株式会社WOWOW  
 【賛助会員】  
 鹿島建設株式会社  
 株式会社きんでん東京本社  
 スカパーJSAT株式会社  
 株式会社住之江工芸(高松コンストラクショングループ)  
 ソニー株式会社  
 高砂熱学工業株式会社  
 トヨタ自動車株式会社  
 日本電信電話株式会社  
 株式会社みずほ銀行  
 合計107社・団体(個人会員除く)

# Annual Report 2020

年間活動報告書  
2020.4.1-2021.3.31



〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル 2F  
 TEL : 03-3543-7531 FAX : 03-3543-7533  
 URL : <http://www.vipo.or.jp/>

編集・発行 特定非営利活動法人映像産業振興機構  
 2021年6月29日発行



この製品は、FSC®認証材および管理原材料から作られています。  
 また、インクは一部に植物油を使用して揮発性有機化合物の発生を抑えた「VEGETABLE OIL INK」を使用し、有害廃液を排出しない「水なし印刷」を採用しています。



# コンテンツの未来へ、 つなげる、ひろげる。

コンテンツ業界に関わるすべての人たちへ  
VIPOは、「まなび」「つながり」の機会を提供し  
ビジネスの輪がひろがるよう、サポートしていきます。

## VIPOの 主な事業テーマ

## 人材育成

## 海外展開・市場開拓

出版

キャラクター

音楽

ゲーム

マンガ

アニメ

放送

映画

ヴィーボ  
VIPOは日本のコンテンツ産業の国際競争力の強化を推進し、日本経済の活性化に寄与することを目的に、2004年に設立されたNPO法人です。  
〈人材育成〉、〈海外展開・市場開拓〉の支援を中心に、様々な活動を通して、業界全体のさらなる価値向上と長期的発展をグローバルな視点に立ちサポートしています。

### ご挨拶

2020年度の年間活動報告をさせていただくにあたり、日頃の皆様のご理解とご支援に、心より感謝申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの影響により、エンターテインメント業界では、イベントの中止・延期、オンライン・配信へのシフトなど、様々な変化を余儀なくされました。そのような状況下においても、VIPOは例年通り、業界のジャンルの垣根を超えた新しい可能性がひとつでも多く生まれるようにとの思いのもと、継続事業の運営、セミナーやマッチングイベント等の定期開催、様々な情報発信などを積極的に行って参りました。

また昨年度は、例年の活動に加えて、コロナ禍に対応した経済産業省・文化庁による補助金、および民間企業による救済基金の事務局運営を担い、皆様の一助となるべく取り組んで参りました。現在も不透明な状況は続いていますが、VIPOは引き続き皆様のお力になれるよう、体制を強化し努めて参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



理事長 松谷孝征



専務理事・事務局長 市井三衛

# INDEX

## P03-04 設立の経緯/組織図 ・VIPO事業マッピング

### ▶ 人材育成

P05-06 ・ndjc:若手映画作家育成プロジェクト

P07 ・映画スタッフ育成事業  
・AFI Conservatory  
日本人留学生推薦事業

P08 ・京まふ2020  
・京都映画企画市

P09-11 ・VIPOアカデミー

P12-13 ・コンテンツ業界向け  
セミナー&ワークショップ

### ▶ 人材育成/海外展開・市場開拓

P14-15 ・日本映画海外展開強化事業

### ▶ 海外展開・市場開拓

P16-17 ・コンテンツグローバル  
需要創出促進・基盤整備事業費補助金

P17 ・コンテンツグローバル  
需要創出促進・基盤強化事業費補助金

P18 ・コンテンツグローバル  
需要創出促進事業費補助金  
・コンテンツグローバル  
需要創出促進事業費補助金(三次補正)

P19-22 ・令和2年度コンテンツ海外  
展開促進事業

P23-24 ・メディア芸術海外展開事業

P25-26 ・文化芸術収益力強化事業

P26 ・ARTS for the future!

P27 ・Netflix 映画・テレビドラマ  
制作従事者支援基金  
・東京都コンテンツ活用促進事業

### ▶ 調査・情報サービス

P28 ・大型映像作品ロケーション  
誘致の効果検証調査

P28-29 ・全国ロケーションデータベース  
の利用促進のための調査研究

P30 ・海外向けオンライン出版  
コンテンツカタログサイト  
[Japan Book Bank]事業  
・VIPO Integrated  
Support System (VISS)

P31 ・国際マッチングサイト  
[Japan Creator Bank]  
・JAPACON

P32 ・Japan Content Catalog (JACC®)

### ▶ アーカイブ

P33 ・令和2年度アーカイブ  
中核拠点形成モデル事業

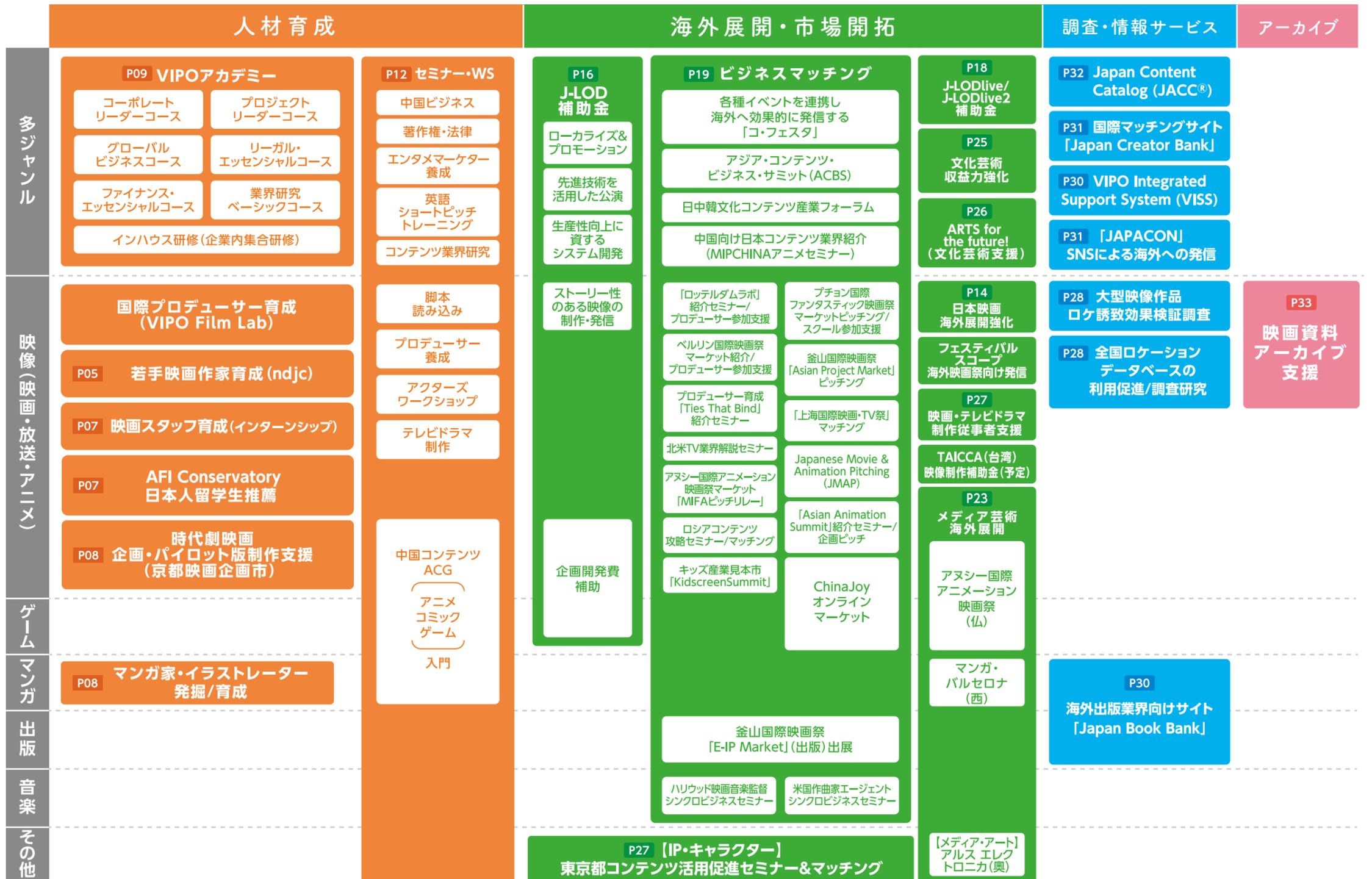
### ▶ その他

P34 ・広報活動

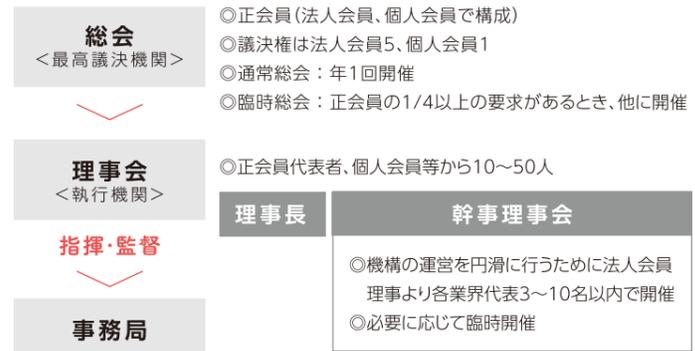
## 設立の経緯

- 2004年3月の日本経済団体連合会の提言「『知的財産推進計画』の改訂に向けて」において、映像産業全般の振興を推進する機関の設置を提言。
- 政府「知的財産推進計画2004」(2004年5月27日・知的財産戦略本部決定)の中に、2004年度に「映像産業振興機関の設立」を支援することが明記。
- 6月より経団連エンターテインメント・コンテンツ産業部会(人材育成分科会)で検討を開始するとともに、日本映画製作者連盟、日本民間放送連盟、日本動画協会等と連絡をとりつつ実務的検討を進める。また内閣官房知財推進本部、総務省、文部科学省、経済産業省、関係自治体とも調整。
- 11月、映像産業関連事業者を中心とする設立準備委員会を立ち上げ、同機構の事業内容等について詳細を固めた上で12月6日に設立総会を開催。
- その後直ちに内閣府にNPO法人の申請を行い、2005年5月、認証。

## VIPO事業マッピング(本年度開始予定の新規事業含む)



## 組織図



## 総会・理事会・幹事理事会 開催実績

- 総会**  
令和2年7月28日(オンラインを併用)
- 幹事理事会**  
・令和2年6月25日  
・令和2年11月26日(2回ともオンラインを併用)
- 理事会**  
・令和2年6月25日  
・令和2年7月28日  
・令和2年11月26日(3回ともオンラインを併用)

ndjc

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA

ndjc:若手映画作家  
育成プロジェクト

文化庁 委託事業

次代を担う長編映画監督の発掘と育成を目的として文化庁よりVIPOが委託を受け実施しているプロジェクト

本事業発足から15年を経て、232名がプロジェクトに参加  
その中から73名が製作実地研修に進み、短編映画を製作  
ここから長編映画監督が続々と誕生!

文化庁の委託を受けて2006年度よりスタートした「ndjc:若手映画作家育成プロジェクト」。優れた若手映画作家を対象に、本格的な映像製作技術と作家性を磨くために必要な知識や技術を継承するためのワークショップや製作実地研修を実施するとともに、作品発表の場を提供することで、次代を担う長編映画監督の発掘

と育成を目指しています。若手映画作家にとっては、プロのスタッフの指導の下、オリジナル脚本の短編映画作品を製作するチャンスとなり、完成した作品は、映画業界関係者向けの合評上映会だけでなく劇場公開もされるため、広く作品を披露する機会となっています。

! PICK UP 主なプロジェクト出身監督の活躍(2020年度)

中野量太監督(ndjc2008)

『浅田家!』(2020年10月2日公開)  
配給:東宝 監督・脚本:中野量太  
出演:二宮和也、妻夫木聡、風吹ジュン、平田満、黒木華、菅田将暉

岨手由貴子監督(ndjc2009)

『あのこは貴族』(2021年2月26日公開)  
配給:東京テアトル/バンダイナムコアーツ 監督・脚本:岨手由貴子  
出演:門脇麦、水原希子、高良健吾

佐藤快磨監督(ndjc2015)

『泣く子はいねえが』(2020年11月20日公開)  
配給:バンダイナムコアーツ/スターサンズ 監督・脚本・編集:佐藤快磨  
出演:仲野太賀、吉岡里帆、寛一郎、山中崇/余貴美子、柳葉敏郎

池田 暁監督(ndjc2017)

『きまじめ楽隊のぼんやり戦争』(2021年3月26日公開)  
\*ndjc2019「長編映画の実地研修」完成作品  
配給:ピターズ・エンド 監督・脚本・編集・絵:池田 暁  
出演:前原 滉、今野浩喜、中島広稀、清水尚弥、橋本マナミ、矢部太郎、片桐はいり、きたろう、嶋田久作、竹中直人、石橋蓮司

今後の主なプロジェクト出身監督の活動予定(2021年度)

堀江貴大監督(ndjc2015)

『先生、私の隣に座っていただけませんか?』(2021年9月10日公開)  
配給:ハピネットファントム・スタジオ 監督・脚本:堀江貴大  
出演:黒木華、柄本 佑、金子大地、奈緒、風吹ジュン

中江和仁監督(ndjc2011)

『きのう何食べた?』(2021年11月3日公開)  
配給:東宝 監督:中江和仁 脚本:安達奈緒子  
出演:西島秀俊、内野聖陽、山本耕史、磯村勇斗、マキタスポーツ、田中美佐子、梶 芽衣子

金井純一監督(ndjc2009)

『マイ・ダディ』(2021年9月23日公開)  
配給:イオンエンターテイメント 監督:金井純一  
脚本:及川真実、金井純一 出演:ムロツヨシ、中田乃愛

和島香太郎監督(ndjc2008)

『梅切らぬバカ』(2021年公開予定)  
\*ndjc2020「長編映画の実地研修」完成作品  
配給:ハピネットファントム・スタジオ 監督・脚本:和島香太郎  
出演:加賀まりこ、塚地武雅、渡辺いっけい、森口瑠子、斎藤汰鷹

ndjc2020  
実施概要

今年度は、21団体から44名の応募があり、その中から20作家がワークショップに参加しました。さらにその中から3作家が、最終課題である製作実地研修に進み、脚本開発を経て35mmフィルム撮影を必須とした短編映画を製作。完成作品は全国で開催する合評上映会にて披露されました。多方面からいただく講評は作家の今後の活動に役立たせるべく、すべてをフィードバックします。これまでに完成した作品と併せて、今後も引き続き発表の機会を提供していきます。

- 4月 作家の公募  
・映画関係団体等から推薦された作家の中から、ワークショップ参加作家を決定
- 5月
- 6月
- 7月 ワorkshop  
・同一の条件下で、共通のテーマに沿った完成尺5分以内の作品を制作
- 8月
- 9月 製作実地研修  
・35mmフィルム撮影による25分以上30分以内の短編映画を製作(脚本開発~撮影~仕上げ~完成)
- 10月
- 11月
- 12月 合評上映会・講評会  
・主要都市での映画関係者、一般モニター等を対象とした合評上映会  
・講評会を実施し、作家へフィードバック  
・東京、大阪、名古屋で劇場公開  
・脚本指導講評会
- 1月
- 2月
- 3月



ワークショップ



製作実地研修



合評上映会(東京会場)



作品講評会

ndjc2020 製作実地研修参加作家と完成作品



『毎日爆裂クッキング』

監督 植木咲楽

[作家推薦団体]  
PFF  
[制作プロダクション]  
アルタミラピクチャーズ  
[出演]  
安田聖愛、肘井ミカ、駒木根隆介、今里 真、小日向星一、大谷亮介、渡辺えり



『醒めてまぼろし』

監督 木村緩菜

[作家推薦団体]  
日本映画大学  
[制作プロダクション]  
シネムーブ  
[出演]  
小野花梨、青木 柚、遠山景織子、仁科 貴、青柳尊哉、尾崎桃子



『窓たち』

監督 志萱大輔

[作家推薦団体]  
PFF  
[制作プロダクション]  
角川大映スタジオ  
[出演]  
小林涼子、関口アナン、瀬戸さおり、小林竜樹、里々佳



## 映画スタッフ育成事業

文化庁 委託事業



本事業は、映画スタッフを目指す学生に、実際の映画製作現場での実習を通して、現場での初歩的な知識と技術を習得させることを目的とした人材育成事業です。学生/学校/制作プロダクションと連携して、学校の授業だけでは習得、体験することができない、プロの製作現場において必要とされる知識、技術、スタッフ間でのコミュニケーション能力等を身につけ、卒業後に映画の製作現場で活躍できるスタッフを持続的に育成することを目的としています。

2018年度から3年間、当機構が事務局を運営しています。映画や映像系学科等がある大学/専門学校等を中心に一般大学、美術大学も含めて募集を行いました。2020年度は41人の学生が劇映画12作品の撮影現場にてインターン実習を経験。実習後に実施したアンケートでは制作会社/学生の両者から満足度と有益度が高いとの評価を得ました。

**実習職種** 演出/撮影/照明/録音/制作/美術/装飾/衣裳等

**平成30～令和2年度実習50作品**

### 実習生の声

- 学べたことはとても多く、将来やりたいことも少しずつ決めることができました。(専門1年)
- 学校生活では経験することのできないことなので、新たな道が開けた。(専門2年)
- ネットで調べてもいまひとつ分からなかった実際の仕事内容について、たくさんお話を伺えたことが一番の収穫。(大学3年)

### 学校関係者の声

- 自己の目標を具体的に考える上で、何が足りないか、何を目標とするかを現場体験を通して見つめる有意義な機会となり、成長を感じている。(大学)
- 映画美術の面白さを、現実の撮影現場で掴んだと見え、とても大きい収穫となった。(大学)
- 現場の技師さんに次の現場にもお誘い頂き、つながりを作らせて頂けた。(専門)

### 製作現場の声

- 目に見えている撮影現場以外の部分を知れたのは大きな成果なのではと思う。
- (地方大学からロケに参加した学生について) 地方にも良い人材が眠っていると強く感じた。
- 非常に現場になじんでいる。今後は本当に自分のやりたい分野に狙いを定めて全集中していればよい。

メジャースタジオ作品からインディペンデント系まで多様な現場で実習できました。

『Arc アーク』石川 慶監督/『藍に響け』奥秋泰男監督/『茜色に焼かれる』石井裕也監督/『ある船頭の話』オダギリ ジョー監督/『生きちゃった』石井裕也監督/『インソプの思うつぽ』浅沼直也監督・上田慎一郎監督・中泉裕矢監督/『189』加門幾生監督/『いのちスケッチ』瀬木直貴監督/『魚座どうし』ndjc2019 山中瑠子監督/『うちの面達は。』ndjc2018 山元 環監督/『梅切らぬバカ』ndjc長編 和島香太郎監督/『AI崩壊』入江 悠監督/『駅までの道をおしえて』橋本直樹監督/劇場版『奥様は、取り扱い注意』佐藤東弥監督/『お終活 熟春!人生、百年時代の過ごし方』香月秀之監督/『男はつらいよ50 お帰り 寅さん』山田洋次監督/『火口のふたり』荒井晴彦監督/『記憶にございません!』三谷幸喜監督/『きまじめ楽隊のぼんやり戦争』ndjc長編 池田 暁監督/『君は永遠にそいつらより若い』吉野竜平監督/『窮鼠はチーズの夢を見る』行定 勲監督/『ゲームショー・オブ・デス』遊佐和寿監督/『五徳円のじんせい』文 晟豪監督/『子供はわかってあげない』沖田修一監督/『殺さない彼と死なない彼女』小林啓一監督/『ザ・ファブル 殺さない殺し屋』江口カン監督/『ジオリマボーイ・パノラマガール』瀬田なつき監督/『シグナル100』竹葉リサ監督/『事故物件 恐い間取り』中田秀夫監督/『シン・ウルトラマン』樋口真嗣監督/『先生、私の隣に座っていただけませんか?』堀江貴大監督/『そして、パトンは渡された』前田 哲監督/『天外者』田中光敏監督/『とんぼ』瀬々敬久監督/『パスカヴィル家の犬 シャーロック劇場版』西谷 弘監督/『鳩の撃退法』タカハタ秀太監督/『ハルカの陶』末次成人監督/『プレイブ-群青戦記-』本広克行監督/『閉鎖病棟-それぞれの朝-』平山秀幸監督/『僕と彼女とラリーと』塚本連平監督/『マスカレード・ナイト』鈴木雅之監督/『窓たち』ndjc2020 志賀大輔監督/『よこがお』深田晃司監督/『楽園』瀬々敬久監督/『Red』三島有紀子監督/『ロマンズドール』タナダ ユキ監督  
タイトル未発表作品:  
小林啓一監督作品/下手大輔監督作品/成島 出監督作品/山崎 貴監督作品

将来の映像産業を担うプロフェッショナルの発掘と育成を目指すとともに、日本の映画企画や若手クリエイターが世界に出ていく仕組みを構築することを目的とし、AFI (American Film Institute) Conservatoryへ留学を希望する日本人の推薦活動を行っています。2020年度は2021年秋学期に志願を予定する日本人留学生を対象に、推薦学生を募集いたしました。



## AFI Conservatory 日本人留学生推薦事業

自主事業

### AFIとは

米国の国家的な機関として、映像教育でのリーダーシップを発揮し、映画、テレビ、デジタル・メディアといった芸術分野において、その存在価値と卓越性が高く評価されています。AFIの教育機関であるAFI Conservatoryでは、撮影監督/監督/編集/プロデューサー/美術/脚本家のプロを育てるために制作実践、現場主義を基本とし、映画やテレビの世界からの実務プロフェッショナルで組織された指導者陣が教鞭をとっています。

## 京都国際マンガ・アニメフェア(京まふ)2020

京都市 委託事業

### 京都国際マンガ・アニメフェア(京まふ)

2012年より続くマンガ・アニメ関連の総合見本市。2020年は9月19日(土)、20日(日)に開催され、VIPOが運営に携わる京まふ関連イベント「マンガ道場」と「マンガ出張編集部」は、新型コロナウイルス感染症対策を考慮し、10月17日(土)、18日(日)、11月21日(土)、22日(日)と4回に分けて実施いたしました。

### 海外PR「京都国際マンガ・アニメ大賞 2020」世界87の地域/国からエントリー

マンガ部門：326作品、イラスト部門：1,191作品、2020年新たに加わったCGアニメコンテスト：104作品。  
応募総数：歴代最高となる1,621作品。  
授賞式：2020年11月21日(土) (京都国際マンガミュージアム)  
本年は海外の受賞者と授賞式会場をネットで繋ぎ、リアル・イベントとオンラインを融合した形での実施となりました。

2020年度からは授賞形態を変え、全応募作品から選ばれる京都国際マンガ・アニメ大賞1作品、特別賞1作品、そしてマンガ、イラスト、CGアニメの3部門それぞれに優秀賞、準優秀賞1作品ずつを選定。大賞、優秀賞、特別賞の受賞者は右記の方々。



**京都国際マンガ・アニメ大賞**  
Gene (ジーン) 様 [台湾在住]

**CGアニメコンテスト優秀賞**  
川尻将由様 [日本]

**マンガコンテスト優秀賞**  
rime (ライム) 様 [中国在住]

**特別賞**  
佳乃ゆず様 [日本]

**イラストコンテスト優秀賞**  
Gene様

## 京都映画企画市

京都府 委託事業

### 映画企画コンテスト

開催日：2020年11月8日(日)  
(京都みなみ会館)

「日本で唯一、メジャースタジオで自分の作品企画を映像化できるコンテスト」を開催しました。本コンテストは映像製作者を対象に、京都府内での撮影を想定した時代劇ジャンルの作品を募集し、新しい才能の企画実現の仕組みづくりを目的としています。書類選考を通過した6企画の中からプレゼンテーションを行い、業界の第一線で活躍する映画関係者が応募企画を評価。今回は『水虎』(金子雅和監督)が優秀映画企画作品として選ばれました。受賞者には350万円相当のパイロット版映像制作の権利が付与され、松竹撮影所の協力のもと太秦で撮影が行われました。



## 京都映画企画市

時代劇の拠点、京都の優位性を活かし  
クリエイティブに関わる人材の活動支援

### 2020年優秀映画企画『水虎』金子雅和監督

19世紀末。日本画家の露銀は、最良の岩絵具を求め全国を旅する中、山間の村で塩商人の男の命を助ける。大きな荷を背負い塩屋としか名乗らない男は、山奥の水辺で出会った絶世の美女を探し続けていると語る。その女を一目見て描きたいと思う露銀は、開発が進む鉱山地で塩屋と再会する…。激動の時代を生き抜く男女の寓話。

### 優秀映画企画完成披露上映会

開催日：2020年11月8日(日) (京都みなみ会館)  
2019年優秀映画企画の完成披露上映に加え、2018年の優秀映画企画を上映。さらに、受賞者・制作者によるトークイベントを実施しました。

### 映画企画相談会

開催日：2020年10月31日(土) (オンライン)  
プロの製作者に企画作りのノウハウを学ぶことができる企画相談会をオンラインにて実施しました。

### 新規育成事業

大学のカリキュラムとして講師(映画関係者・事務局)による映画企画作成・イベント実施講義を2020年5月～12月の間8回(1回90分)にわたり実施いたしました。



VIPOアカデミー

自主事業

コンテンツ業界のリーダー育成を目的として、業界に最適化された独自の教育プログラムを提供する人材育成事業

## ビジネススキルの習得だけでなく ジャンルを超えて、ともに学んだ受講者によるネットワークは 新しいビジネスへのきっかけになっています

VIPOアカデミーは2015年度にスタートしたコンテンツ業界のリーダー育成を目的とした人材育成事業で業界向けにカスタマイズしたプログラムを実施しています。経営幹部人材を育成する「コーポレートリーダーコース」と、現場のマネジメント力を強化する「プロジェクトリーダーコース」は、スキルアップや受講者同士のネットワーク構築に加え、企業間のコラボレーションのきっかけの場になりました。また、グローバルで戦うビジネス力を磨く「グローバルビジネス

コース」、法律や会計の知識を学ぶ「リーガル・エッセンシャルコース」「ファイナンス・エッセンシャルコース」、コンテンツ業界各ジャンルの基礎的な知識を横断的に習得できる「業界研究ベーシックコース」など、現在、全6コースを開講しています。2020年度は新型コロナウイルス感染リスク拡大の影響により、春期コースを中止して、秋期、冬期コースのみをオンラインで実施し、延べ20社51名に受講いただき、これまでの累計は119社634名となりました。

### 「チームマネジメント・ワークショップ」の開催



リモートワークの普及にともない一段とチームマネジメント力を強化したいと考えている方を対象に、「チームマネジメント・ワークショップ～メンバーへのコーチング力を強化する～」を2月15日に開催しました。受講者からは「知識としてだけでなく実践(エクササイズ)を繰り返すことで、自分が本当に理解できているか確認することができた」との感想をいただきました。

### 講演会



登壇者 重村博文氏 キングレコード株式会社 特別顧問  
一般社団法人日本レコード協会 会長

時代における技術革新とともに変化を続け、現在はストリーミングサービスが主流となっている世界のレコード産業。そのような中で、今後の音楽業界の課題や人材育成、ご自身の仕事に対する考え方などを交えてお話いただきました。

### 成果発表会



業界各社の経営層から受講者の上司、政府関係者まで、多くの方にお集まりいただき、受講者から学びの成果を発表しました。

## 2020年度開講内容

### コーポレートリーダーコース (管理職向け)

講義と演習、グループ活動を通して、経営戦略、ファイナンス、ビジネスプランニング、プレゼンテーション、リーダーシップの知識やノウハウを身につけることで、企業の成長・発展に貢献するコーポレートリーダー(経営幹部人材)を育成します。

第12期 2020年9月5日～11月26日

#### 目的

- ▶ 経営者の視点を養い、経営幹部になるために必要とされる経営スキルを身につける
- ▶ コーポレートリーダーとして必要なスキルを習得し、リーダーシップを最大限に引き出す
- ▶ 他社のリーダーと刺激し合い、ビジネスに発展するようなネットワークを構築する

### プロジェクトリーダーコース (中堅社員向け)

講義と演習、グループ活動を通して、企画力(ロジカルシンキング、ファイナンス、発想力)と推進力(プロジェクトマネジメント、リーダーシップ、プレゼンテーション)を強化することで、クオリティとスピードを両立させ、周囲を巻き込んでプロジェクトを成功に導くプロジェクトリーダーを育成します。

第10期 2020年9月12日～11月24日

#### 目的

- ▶ プロジェクトリーダーとして活躍するために必要なビジネススキルを身につける
- ▶ 他社の若手リーダーと刺激し合い、ビジネスに発展するようなネットワークを構築する

### グローバルビジネスコース (仕事で英語を使う方、 海外とコミュニケーションを取る方向け)

実践を重視した講義(英語・日本語)と英語での演習を通して、英語でのビジネス力(コミュニケーション力、交渉力、プレゼンテーション力)を強化することで、グローバルシーンにおいて活躍できる人材を育成します。  
※英語力想定レベル:中級(TOEIC 600～700点程度)

2020年度の開講は見合わせました

#### 目的

- ▶ グローバルシーンで通用するコミュニケーション力、交渉力、プレゼンテーション力を身につける
- ▶ 他社の参加者と刺激し合い、ビジネスに役立つネットワークを構築する

### リーガル・エッセンシャルコース (コンテンツ関連の法務知識を習得したい方、 法務部門における経験が1年程度の方向け)

コンテンツ業界のビジネスパーソンとして必要不可欠な、著作権、ライセンス、契約などのリーガル知識を身につけることで、契約トラブルを未然に防ぎ、ビジネスを広げたい人材を育成します。

第8期 2020年9月29日～11月10日

#### 目的

- ▶ コンテンツ業界の著作権、ライセンス、契約などのリーガル知識を身につける
- ▶ 他社の参加者と刺激し合い、ビジネスに役立つネットワークを構築する

### ファイナンス・エッセンシャルコース (コンテンツ関連のファイナンス知識を習得したい方、 経理財務部門の経験が1年程度の方向け)

コンテンツ業界のビジネスパーソンとして必要不可欠な、財務諸表、プロジェクト会計、予算管理などのファイナンス知識を身につけることで、会社やプロジェクトの数字を常に意識しながら業務を推進できる人材を育成します。

第9期 2020年10月1日～11月12日

#### 目的

- ▶ コンテンツ業界の財務諸表、プロジェクト会計、予算管理などのファイナンス知識を身につける
- ▶ 他社の参加者と刺激し合い、ビジネスに役立つネットワークを構築する

### 業界研究ベーシックコース (コンテンツ業界の各ジャンルの基礎知識を 習得したい方向け)

コンテンツ業界の各ジャンル(映画・出版・音楽・テレビ・アニメ・ゲーム・キャラクター)とその展開エリアのマーケットやビジネスモデルを理解し、それぞれの成功パターンを学ぶことで、ジャンルを超えたコンテンツビジネスを生みだせる人材を育成します。

第8期 2020年12月9日～2021年3月10日

#### 目的

- ▶ コンテンツ業界各ジャンルとその展開エリアのマーケットやビジネスモデルを理解する
- ▶ コンテンツ業界の成功パターンを学ぶ
- ▶ 他社の参加者と刺激し合い、ビジネスに役立つネットワークを構築する

## VIPOアカデミーをご利用いただいた企業の人事担当者様の声

### 株式会社IMAGICA GROUP 人材マネジメント部 浦 裕美様



当社はVIPOアカデミー開催初年度からご縁があり、コーポレートリーダーコースとグローバルビジネスコースに毎年参加させていただいています。研修ではメンバー同士のディスカッションはもちろん、講師に対しても積極的に意見をぶつけていて、そのやりとりがより深い理解を促進しているように感じます。多くの気づきを得ることができ、自分の行動に落とし込めるという点がこの研修の一番の魅力ではないでしょうか。受講した社員からは、「課題が多く大変だったが参加してよかった」、「ぜひ他の社員にも勧めたい」といった感想が多く、充実した講座内容が参加者の学びと満足度につながっていることを実感しています。

何より、業界のトレンドや世の中で何が起きているのかをキャッチアップしつつ、他社の方々とネットワークもできるのは、社員にとっても会社にとっても大きなメリットです。今後もぜひ継続して参加させていただきたいと考えています。

### 株式会社サンリオ 総務部人事課 中川恒之様



会社の特性上、社外の風土を感じる事が少なく、社外にも視野を向けることが重要だと思っていた時でしたので導入いたしました。

今回、私自身がコーポレートリーダーコースを受講することで、業務課題に対して俯瞰で見ることが習慣化しました。それぞれの案件を部門視点ではなく事業視点で見ることができ、社内連携の重要性に気づき、業務進行もスムーズになりました。また、部下との面談でもコミュニケーションが円滑になり、部下自身のモチベーションが上がったことも成果の一つです。

内容や結果に対してとても満足しております。受講して2年経った今でも他社の受講生たちと良い関係が築けており、何度か新規の取り組みにもつながっております。同じ業界の同世代で切磋琢磨する研修は非常に有意義なものです。社内外問わず、お勧めしたいセミナーです。

### 公開コース以外に企業内集合研修(インハウス研修)を提供

2018年度より、公開コース以外に企業のニーズに合わせた企業内集合研修(インハウス研修)を実施しています。2020年度は「ファイナンス研修」、「リーガル基礎知識セミナー」、「リーダーシップ研修」を実施しました。

**VIPOアカデミーの公式サイトでは、企業内集合研修や各コースに関する詳しい情報に加え、人材育成に役立つ情報等を発信しています。**

「VIPOアカデミー」公式サイト

<https://vipo-academy.jp/>

「VIPOアカデミー」公式ツイッター

[https://twitter.com/VIPO\\_ACADEMY](https://twitter.com/VIPO_ACADEMY)



## コンテンツ業界向け セミナー&ワークショップ

自主事業

コンテンツ業界向けに特化した人材育成をメインにセミナーやワークショップを開催

### セミナー 中国セミナー「ACG(アニメ・コミック・ゲーム)で知る中国コンテンツ(入門編)」

中国におけるコンテンツの消費事情や、中国のマーケットをどのように理解すべきか、中国コンテンツ市場(アニメ・コミック・ゲーム)概況および最新動向、また日中ビジネスの違いなど、実例を交えてわかりやすく解説しました。

開催日 2020年5月20日(水)オンライン開催  
講師 峰岸宏行氏(北京動カ動優文化傳媒有限公司(北京MYC) 海外事業部長、株式会社MYC Japan 代表取締役社長)



峰岸宏行氏



### セミナー コンテンツ業界が知っておきたい中国ビジネス攻略セミナー

変化の激しい中国コンテンツビジネス市場を俯瞰して理解できる内容で、毎回大変好評を得ている同セミナー、最新情報を盛り込んだ「2020年6月版」として実施しました。「ビジネス編」では、中国コンテンツビジネス市場についての最新状況、コロナウィルスが中国コンテンツ業界に与えた影響などを解説。「法律編」では、中国コンテンツ関係の法規制概要および最新情勢、典型契約(ライセンス契約、共同製作契約等)締結時の注意点、日中間での契約の考え方の違いなどをテーマに、分かりやすく解説していただきました。

開催日 2020年6月24日(水)(ビジネス編)、7月1日(水)(法律編)オンライン開催  
講師 分部悠介氏(弁護士、弁理士、IP FORWARDグループ総代表/CEO)



分部悠介氏



### セミナー テレビドラマ制作セミナー

第一線で活躍する脚本家とテレビプロデューサーによるセミナー。映像コンテンツ業界を担うスタッフ・プロデューサーをはじめ幅広い業界からご参加いただきました。一般社団法人日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアム共催。

開催日 2020年8月12日(水)オンライン開催  
テーマ 「ニューノーマル時代のテレビドラマの行方」  
講師 脚本家 金子ありさ氏『恋はつづくよどこまでも』  
TBSプロデューサー 磯山 晶氏



金子ありさ氏



中園ミホ氏

開催日 2021年3月25日(木)オンライン開催  
テーマ 「ヒットの法則 国境を越えて共感されるヒロインの描き方」  
講師 脚本家 中園ミホ氏『七人の秘書』『ドクターX〜外科医・大門未知子〜』 テレビ朝日エグゼクティブプロデューサー 内山聖子氏

### セミナー 福井健策弁護士 コンテンツ法律セミナー

コンテンツ業界のみならずが最も知りたいことは何か?という視点で福井弁護士をお招きし定期的に開催しています。

第9弾 開催日:2020年8月26日(水)オンライン開催  
タイトル:「配信プラットフォーム契約の攻略法 2020」  
配信プラットフォームの契約をライセンスと委託にわけて、契約上の特徴を説明。契約書上で一方的な条件に偏りがちな文言を対等に近づけていくという攻防のポイントを解説していただきました。  
講師名: 福井健策氏(弁護士[日本・ニューヨーク州]/日本大学芸術学部・神戸大学大学院客員教授)

第10弾 開催日:2020年12月8日(火)オンライン開催  
タイトル:「舞台・ライブイベントの権利処理と契約」  
ライブイベントがwith コロナ時代にどう進化していくべきなのか、権利処理や法制度の観点から講義いただきました。  
講師名: 福井健策氏(弁護士[日本・ニューヨーク州]/日本大学芸術学部・神戸大学大学院客員教授)



福井健策氏

## セミナー エンタメマーケター養成講座2020(全4回)

デジタルマーケティングを中心に、エンタメマーケティングの基礎と最新のトレンドを豊富な実例から学び、受講者からは4年連続で高い評価を得ました。全4回を通して講座前半に鈴木講師からエンターテインメントとテクノロジーが融合したプロモーションやマーケティングを紹介しました。

**開催日** 2020年9月7日(月)、14日(月)、23日(水)、28日(月)〈全4回〉オンライン開催  
**メイン講師** 鈴木貴歩氏(ParadeAll株式会社 代表取締役 エンターテック・アクセラレーター)

- 第1回** 開催日：2020年9月7日(月)  
 タイトル：「エンタメマーケティング概論2020とWITHコロナ時代の音楽マーケティング」  
 講師名：梶 望氏(株式会社ソニー・ミュージックレーベルズ EPICレコードジャパン)
- 第2回** 開催日：2020年9月14日(月)  
 タイトル：「ストリーミング時代のデータ分析、デジタルプロモーションについて」  
 講師名：松島 功氏(株式会社arne[アルネ]代表)
- 第3回** 開催日：2020年9月23日(水)  
 タイトル：「テレビが魅せるエンタメマーケティング」  
 講師名：清水俊宏氏(株式会社フジテレビジョン コンテンツ事業室副部長 フジテレビユー!!チーフビジョナリスト)
- 第4回** 開催日：2020年9月28日(月)  
 タイトル：「トライブマーケティングと急成長する音声メディア活用」  
 講師名：高野修平氏(株式会社トライバルメディアハウス所属/マーケティングレーベル「Modern Age/モダンエイジ」レーベルヘッド/事業部長 コミュニケーションデザイナー/クリエイティブディレクター、コピーライター、コンサルタント)



鈴木貴歩氏

## ワークショップ アクターズワークショップ

将来の映像産業を担う俳優の発掘と育成を目指し、第一線で活躍する講師による俳優養成講座をオンラインで開催。講義や演技指導では一人一人に向けて懇切丁寧な指導と助言がありました。

**講師** 吉川邦夫氏(演出家『真田丸』、『新選組!』等)  
**第8弾** 開催日：2020年9月17日(木)、18日(金) オンライン開催  
**第9弾** 開催日：2021年3月17日(水)、18日(木) オンライン開催



## セミナー コンテンツ業界研究セミナー

城西国際大学の学生を対象とした、業界研究セミナーをオンラインで開催。4業界(①音楽サウンド・ステージ ②芸能プロダクション ③広告/イベント企画 ④映像/アニメ制作)から各2社にご登壇いただき、業界全体の状況や個別業務の詳細から、その業界を目指す上で「今、やっておくべきこと」など、多角的な方面からお話しいただきました。受講生からは「とても有意義だった」「具体的な目標ができました」など多くの好意的なご意見を聞くことができました。

**開催日** 2020年10月10日(土)、17日(土)  
**登壇企業** ①音楽サウンド・ステージ：株式会社ディスクガレージ、株式会社東京音響通信研究所  
 ②芸能プロダクション：株式会社松竹エンタテインメント、東宝芸能株式会社  
 ③広告/イベント企画：株式会社フロンティアインターナショナル、株式会社クオラス  
 ④映像/アニメ制作：AOI TYO Holdings株式会社、株式会社旭プロダクション

## セミナー 映画プロデューサー養成講座 基礎編 第5弾

プロデューサーの具体的な役割、企画の立て方、書き方、脚本の読み方、脚本の仕組みと構成の理解、制作予算の立て方、資金回収などを解説。「映画」を題材に映像コンテンツ製作に必要な不可欠なプロデューサーの基礎知識を集中的に学びました。

**開催日** 2020年12月2日(水)、3日(木)、4日(金)〈3日間〉オンライン開催  
**講師** 安藤紘平氏(映画監督 早稲田大学名誉教授)  
**最終日ゲスト** 沖田修一氏(映画監督『おらおらでひとりいぐも』等)



安藤紘平氏

沖田修一氏

## ワークショップ 海外見本市で役立つ 英語ショートピッチトレーニングプログラム2020

海外の見本市におけるピッチセッション以外のネットワーキングの場など、短い時間で作品の魅力を伝える方法を学ぶことができるピッチトレーニングプログラム。ピッチスキルだけでなく、海外市場に打ち出していく上での自社の作品・IPの特性や独自性を理解し、英語でアピールするスキルを習得することができるオンラインのトレーニングに、3社から6名ご参加いただきました。

**開催日** 2020年12月~2021年1月〈全5回〉オンライン開催  
**講師** 第1回：林 美千代氏(ブランドプロミス合同会社)  
 第2回~5回：石井清猛氏、浅川奈美氏、ビル・ライリー氏(日本映像翻訳アカデミー株式会社)



## セミナー 映画脚本読み込み講座 第4弾

ドラマ・映画製作において最も重要な土台であり設計図となる脚本の知識を学び、「自分にとって面白いと思うテーマとは何か。」を講師と掘り下げていきました。参加者には事前に課題が与えられそれに対し、講師に直接指導していただきました。

**開催日** 2021年3月29日(月)、30日(火)〈2日間〉  
**講師** 池端俊策氏(脚本家)



池端俊策氏

## 日本映画海外展開強化事業

文化庁 委託事業

本事業は、欧米の映画先進国において日本映画の上映を実施する他、国際的で多様なワークショップ等による人材交流機会の提供によって、新たな創造活動の機会創出および促進、映画人材の増強、ひいては日本映画の魅力向上、多様性の強化を実現することを目指し実施いたしました。

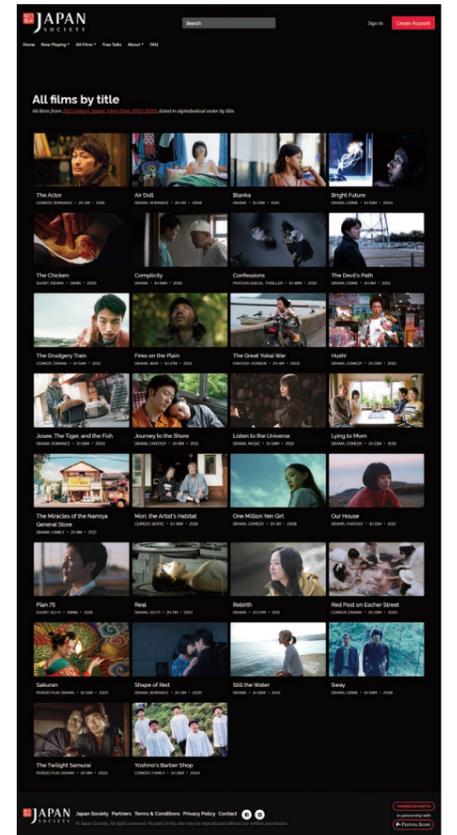
本年度は、新型コロナウイルス感染症の流行状況を鑑み、オンラインを活用し、(ア)米国における日本映画の特集上映等、(イ)日本の映画関係者の短期実践研修、(ウ)海外映画祭における日本映画の海外展開強化策の実施業務を行いました。

### (ア)米国における日本映画の特集上映等

海外における日本映画の上映機会創出と海外展開の強化を目的とし、米国での日本映画特集上映会を企画・実施しました。テーマを設けた特集上映を開催することで、新たな視点と深度から日本映画を鑑賞する機会とし、海外の幅広い観客への日本映画の定着を図りました。

#### 特集上映・トークイベント開催概要

- 開催期間：2021年2月5日(金)~25日(木)
- 上映方式：オンライン配信上映 ※視聴範囲は米国(一部北米を含む)のみ
- 実施内容：
  - “21世紀の日本映画特集”(21st Century Japan: Films from 2001-2020)と題して、特に注目すべき21世紀の実写映画を毎年1本ずつ選定し、新作映画2本を含む計21本の特集上映を行いました。また、黒沢 清監督に焦点をあてた“黒沢 清監督特集”(Focus on Kiyoshi Kurosawa)では、監督代表作3本を上映。“若手監督特集”(Filmmakers on the Rise)では、今後の活躍が期待される若手監督の作品計6本(研修参加者の監督作品3本を含む)を上映しました。同時に、黒沢 清監督、“21世紀の日本映画特集”の監督たち、ケント・ジョーンズ氏によるトークイベント、新作映画上映を行った園 子温監督、三島有紀子監督によるQ&Aセッションの計5本も実施しました。
  - 主催：文化庁、ジャパン・ソサエティー/協力：VIPO
  - 特集上映内容(作品数：計30本)
    - [21st Century Japan: Films from 2001-2020] (21本/内新作2本)
    - [Focus on Kiyoshi Kurosawa] (3本)
    - [Filmmakers on the Rise] (6本)
  - トークイベント、Q&Aセッション内容(計4本)
    - [A Conversation with Kiyoshi Kurosawa]
    - [What is Japanese Cinema in the 21st Century?]
    - ["What Is Japanese Cinema in the 21st Century?" The Filmmakers' Perspective]
    - ["What Is Japanese Cinema in the 21st Century?" A Film Critic's Perspective]
    - [Q&A with Sion Sono]
    - [Q&A with Yukiko Mishima]



### (イ)日本の映画関係者の短期実践研修

日本の映画人材の底上げ、海外進出の促進、海外とのネットワーク構築を目的に、海外での活躍を志す日本人映画作家を対象として、ニューヨークの映画関係者を講師に迎えた企画書・脚本フィードバック指導、テーマ別講義等の研修をオンライン中心に実施しました。

●主催：文化庁/運営：VIPO

#### 研修全体スケジュール

- 研修者募集期間：2020年8月14日(金)~10月20日(火)
- 研修者発表：2020年12月4日(金)
- 1次書類・2次面接審査：2020年10月21日(水)~12月3日(木)
- 研修実施期間：2021年2月1日(月)~3月24日(水)

研修関係者

- 講師：Trey Ellis氏[コロンビア大学スクールオブアーツ教授]  
Mollye Asher氏[プロデューサー]  
Frédéric Boyer氏[トライベッカ映画祭アーティストディレクター]  
Keiko Deguchi氏[映画編集]  
Josef Kubota Wladyka氏[映画監督]  
Eric Nyari氏[プロデューサー]
- 研修アドバイザー：福永壮志氏[映画監督]
- 研修参加者：空音央氏、長谷井宏紀氏、早川千絵氏



空 音央氏



長谷井宏紀氏



早川千絵氏

(ウ) 海外映画祭における日本映画の海外展開強化策の実施

海外における日本映画の上映機会の拡大を目的に、日本の映画会社と海外のシネマテーク等の海外上映団体との出会いと交流を創出する「Japanese Film Matchmaking」を運営、European Film Marketを活用したマッチメイキング・ミーティングおよびウェビナーを実施しました。

- 主催：文化庁／運営：VIPO、有限会社ビィ・ウィズ

マッチメイキング・ミーティング概要

- 実施期間：2021年3月3日(水)～3月5日(金)
- 内容：日本の映画会社と海外シネマテークなどの上映団体とのマッチメイキングを行い、日本の映画会社6社、海外上映団体11社(9か国・地域)が参加するオンライン・ミーティングを実施しました。

ウェビナー概要

- ウェビナー①「特集上映・巡回上映 現状と展望(Retrospective Traveling Theaters)」
- ウェビナー②「配信ビジネスにおけるクラシック映画の可能性(Classic films go online)」

- 公開期間：2021年3月1日(月)～3月20日(土)
- 内容：海外での日本映画の特集企画の促進およびマッチメイキング・ミーティングの告知を図るため、専門家によるウェビナー配信を行い国内外から多くの視聴者を集めました。



ウェビナー①「特集上映・巡回上映 現状と展望」

ウェビナー②「配信ビジネスにおけるクラシック映画の可能性」



経済産業省の令和元年度「コンテンツグローバル需要創出促進・基盤整備事業費補助金」(約31億円)の補助事業者(事務局)に決定し、5つの事業の支援業務を運営いたしました。

コンテンツグローバル  
需要創出促進・  
基盤整備事業費補助金

経済産業省 補助事業

本事業は、経済産業省の令和元年度予算による「コンテンツグローバル需要創出促進・基盤整備事業費補助金」(約31億円)(通称:J-LOD、読み:ジェイロッド)を受け、

- 1 コンテンツ等の海外展開を行う際のローカライズ及びプロモーションを行う事業の支援
- 2 海外向けコンテンツ製作に資する資金調達・人材育成を行う事業の支援
- 3 先進性の高いコンテンツの開発/制作・発信を行う事業の支援
- 4 コンテンツのサプライチェーンの生産性向上に資するシステム開発を行う事業の支援
- 5 デジタル配信を念頭においたストーリー性のある映像の制作・発信を行う事業の支援

を実施するもので、日本発のコンテンツ等の海外展開を促進し、日本ブーム創出を通じた関連産業の海外展開の拡大および訪日外国人等の促進につなげるとともに、コンテンツ産業が持続的に発展するエコシステムを構築することを目的としています。

当補助金は、各事業の費用負担を軽減するため以下の①②③④⑤の必要経費の一部を助成するものです。

① コンテンツ等の海外展開を行う際のローカライズ及びプロモーションを行う事業の支援

コンテンツが主体となった、またはコンテンツを有効活用した海外展開を行う際のローカライズおよびプロモーションを行う事業が対象となっています。(2020年2月19日より公募を開始)

② 海外向けコンテンツ製作に資する資金調達・人材育成を行う事業の支援

海外展開を目指す映像コンテンツの企画・開発として試作映像等を制作する事業が対象となっています。(2020年2月26日より公募を開始)

③ 先進性の高いコンテンツの開発/制作・発信を行う事業の支援

デジタル技術を活用した先進性の高いコンテンツを開発し、世界に向けて発表・発信する事業が対象となっています。(2020年3月27日より公募を開始)

④ コンテンツのサプライチェーンの生産性向上に資するシステム開発を行う事業の支援

コンテンツのサプライチェーンの生産性向上に資するシステム開発を行う事業が対象となっています。(2020年3月30日より公募を開始)

⑤ デジタル配信を念頭においたストーリー性のある映像の制作・発信を行う事業の支援

デジタル配信を念頭においたストーリー性のある映像の制作・発信を行う事業が対象となっています。(2020年3月31日より公募を開始)

交付決定結果

- ▶ 2020年2月から2021年1月までの補助金公募期間において



主な活動内容

- ▶ 補助金の対象や申請方法などを紹介する「補助金説明会」を開催します。また、説明動画をホームページに掲載しています。
- ▶ 申請を検討する事業について相談を受ける「補助金相談会」を開催します。また、メールや電話での相談も随時受け付けています。
- ▶ 交付決定を受けた事業者を対象に、補助を受ける経費の処理方法について基本的なルール説明等を行う「事業開始オリエンテーション」を開催します。

① コンテンツ等の海外展開を行う際のローカライズ及びプロモーションを行う事業の支援

未来少年コナン 英語吹替・4K版素材制作

日本アニメーション・インターナショナル株式会社

英語圏を中心に全世界での放映・配信を目指す為に、「未来少年コナン」全26話の英語吹替版制作・4K化を実施。

ローカライズ後は国際コンテンツ見本市“ATF”にて商談を行いました。



© NIPPON ANIMATION CO., LTD.

② 海外向けコンテンツ製作に資する資金調達・人材育成を行う事業の支援

海外市場向けコンテンツ “ROC” トレイラー製作プロジェクト

株式会社JET SET GO

デジタル配信が主力となり、世界でのコンテンツが不足する中、海外市場にフォーカスしたアニメーション映画“Republic of Cats”の制作を企画。本編制作の資金調達のため、日仏共同制作に向けて、フランスのアニメーション会社を起用しトレイラー製作を実施しました。



© 2021 JET SET GO Ltd. All Rights Reserved.

③ 先進性の高いコンテンツの開発／制作・発信を行う事業の支援

リアルタイムMR (Mixed Reality) 配信システム『Chausie』

株式会社セップ

アーティストのライブパフォーマンス映像に、カメラの位置情報・レンズデータ・照明プログラムデータと連動した3DCGをリアルタイム合成し、新たなライブ体験を提供するMRシステム『Chausie』を開発。LIVEWIRE[PUNPEE]配信ライブ(2020年9月13日開催)にて、日本で初めてとなる生配信でのハイクオリティなMR表現を行いました。



④ コンテンツのサプライチェーンの生産性向上に資するシステム開発を行う事業の支援

電子書籍売上・印税および紙書籍印税の統合管理クラウドシステム

株式会社メディアドゥ

電子書籍の売上状況を的確に把握し、多数のコンテンツ配信をスムーズに行うため、煩雑化している印税計算・支払処理を統合的に実施できるSaaS型出版社向け基幹システムを開発。

電子書籍配信を行う出版社と有効性の実証実験を行ったところ、業務改善やコスト削減に大きな効果があることが確認されました。



⑤ デジタル配信を念頭においたストーリー性のある映像の制作・発信を行う事業の支援

キンカン 若年層に対する認知向上とブランディングを目的とした映像制作

株式会社金冠堂

若年層を中心としたターゲットに対するキンカンブランドの認知向上と「エコ」文脈に乗ったブランディングを目的に設定。これまでの金冠堂の思想と歴史を絡めつつ、「ピン」という変わらない商品特徴をエコ文脈に乗せながら訴求する映像を制作しました。



コンテンツグローバル  
需要創出促進・  
基盤強化事業費補助金

経済産業省 補助事業



経済産業省の令和2年度「コンテンツグローバル需要創出促進・基盤強化事業費補助金」(約54.5億円)の補助事業者(事務局)に決定し、5つの事業の支援業務を運営してまいります。

コンテンツグローバル  
需要創出促進事業費  
補助金

経済産業省 補助事業



本事業では、経済産業省の令和2年度予算による「コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金」(約878億円)(通称：J-LODlive、読み：ジェイロッドライブ)を受け、国内外の新型コロナウイルス感染拡大により、日本発のコンテンツが海外展開のプロモーション機会が失われていることを受け、音楽、演劇等(文化芸術基本法[平成13年法律第148号]第8条から第11条に定める文化芸術分野をいう。)の国内における公演および当該公演を収録した動画の全部又は一部の海外向けのデジタル配信の実施によって日本発のコンテンツのプロモーションを行う事業者に対して、補助金を交付することにより、日本発のコンテンツ等の海外展開を促進し、「日本ブーム創出」を通じた「関連産業の海外展開の拡大」および「訪日外国人等の促進」につなげることを目的に活動しています。

交付決定結果

▶ 2020年5月27日より2022年3月31日までの事業のため現在継続中。(予算の繰り越しに伴い延長)

主な活動内容

- ▶ オンラインによる説明会&個別相談の実施
  - ・説明会の実施(申請/確定検査/専門家)
  - ・個別相談会の実施(申請/変更/確定検査)
  - ・電話・メールの問い合わせ窓口を事務局内に立ち上げ、事業者の質問に対応
- ▶ 公募要項の説明動画の掲載
- ▶ 特設のホームページでのFAQ「よくある質問」の掲載
- ▶ 事業者への「お知らせ」メールの配信

コンテンツグローバル  
需要創出促進事業費  
補助金(三次補正)

経済産業省 補助事業



経済産業省令和2年度「コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金(三次補正)」(約715億円)(通称：J-LODlive2、読み：ジェイロッドライブ・ツー)を受け、2021年4月7日より公募受付を開始いたしました。

# 令和2年度 コンテンツ海外 展開促進事業

## コンテンツ関連 ビジネスマッチング事業

MIFA Pitch Relay "Japanese Animation Makes Your World Brighter!" 経済産業省 委託事業



日本発のアニメ、マンガ、映画、音楽等のコンテンツや先進的なコンテンツ技術の成長を継続・発展させていくため、コンテンツの海外展開に向けた市場を拡大するとともに、コンテンツを主軸としたオープン・イノベーションを促進し、関連産業への波及を生み出していくことを目的としたプロジェクト。日本のコンテンツホルダーへビジネスマッチングの機会を提供することにより、日本コンテンツの国際取引活性化や新市場創出を図ります。

### アヌシー国際アニメーション映画祭「MIFAピッチリレー」

新型コロナウイルスの影響で初のオンライン開催となった世界最大のアニメーション映画祭「アヌシー国際アニメーション映画祭」併設マーケット「MIFA」にて「Pitch Relay "Japanese Animation Makes Your World Brighter!"」と題し、日本企業6社によるオンラインピッチセッションを実施しました。

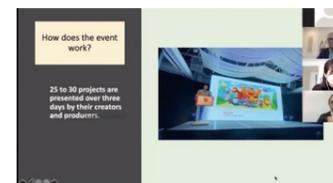
【開催日】2020年6月16日(火)～30日(火)  
【会場】オンライン開催



### 「Asian Animation Summit (AAS)」企画ピッチ 紹介セミナー

スピーカーとしてAASの議長を迎え、アジアで最も本格的なアニメーションのピッチイベントを紹介。海外展開に積極的なプロデューサー等、50名が参加。セミナー後のQ&Aセッションでは、メンタリングの詳細やピッチ作品の選定方法等、具体的な質問が寄せられました。

【開催日】2020年6月25日(木)  
【会場】オンライン開催  
【登壇者】Kim Dalton氏(AAS議長)



### プチョン国際ファンタスティック映画祭 企画ピッチ「NAFF It Project」「NAFF Fantastic Film School」

当映画祭の企画マーケットである「NAFF It Project」では日本の若手監督およびプロデューサーの参加を支援、当映画祭内で実施されるプロデューサー育成プログラム「NAFF Fantastic Film School」では日本の若手プロデューサー2名の参加支援を実施しました。

【開催日】2020年7月9日(木)～15日(水)  
【会場】オンライン開催



### ベルリン国際映画祭「European Film Market / Berlinale Co-Production Market」紹介セミナー

「European Film Market (EFM)」と併設マーケットである「Berlinale Co-Production Market」の代表者をスピーカーに迎え、それぞれのマーケットについての概要と過去の事例、実績、マーケットが求めているものなどを解説いただきました。参加者は37名。

【開催日】2020年7月28日(火)  
【会場】オンライン開催  
【登壇者】Matthijs Wouter Knol氏、Martina Bleis氏



### 「上海国際映画・TV祭」ビジネスマッチング

中国最大規模の映画・TVイベントにて、ビジネスマッチングを実施しました。日本からは地方局を中心に25社が参加し、中国側企業約240社と商談を行いました。

【開催日】2020年7月31日(金)～8月5日(水)  
【会場】オンライン開催



### 「ChinaJoy ゲーム&アニメーション オンライン・マーケット (Game & Animation ~ International Online Exhibition)」

中国音像与数字出版協会遊戯出版工作委员会との共催で、中国最大のゲームショーChinaJoyにおいて、ウェブサイト(非公開)上でのビジネスマッチングを実施。日本からはゲームやアニメーション企業46社、中国からはゲーム制作会社やディベロッパー等31社が参加し、商談件数は168件に達しました。

【開催日】2020年8月17日(月)～9月7日(月)  
【会場】オンライン開催



日本側ウェブサイト

中国側ウェブサイト

### 「ロシア」コンテンツビジネス攻略セミナー【入門・アニメ編】

ロシアのコンテンツ産業を知り、ロシア市場の開拓を目的とするセミナーを開催。最新マーケット情報、日本コンテンツのアドバンテージや市場参入のヒントなどについてプレゼンテーションを実施しました。参加者は163名。

【開催日】2020年8月25日(火)  
【会場】オンライン開催  
【登壇者】高橋 渉氏(Deloitte & Touche CISジャパンサービスグループ ディレクター)  
エフゲニー・コリチューギン氏(Istari Comics Publishing, General Director, Wakanim, Marketing Manager in Russia)



### 「Rotterdam Lab」参加報告会&紹介セミナー

ロッテルダム国際映画祭内で実施される「Rotterdam Lab(ロッテルダムラボ)」について、より多くの日本の映画プロデューサーに理解を深めていただく目的で、昨年度のRotterdam Lab 2020に参加した日本人プロデューサー3名による参加報告および情報共有を行うセミナーを開催しました。

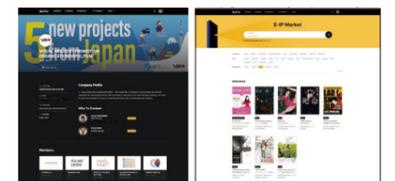
【開催日】2020年9月24日(木)  
【会場】オンライン開催  
【登壇者】青山エイミー氏(AORA Pictures)、汐田海平氏(シェイクトーカー株式会社)、宮瀬佐知子氏(ARRDEP)



### 釜山国際映画祭「APM (Asian Project Market)」& 「E-IP Market」出展&ピッチ

釜山国際映画祭併設マーケット「Asian Contents & Film Market」における「APM(Asian Project Market)」には日本の実写5企画が参加し、ピッチ(個別ミーティング)計13件を実施。また、同時開催の「E-IP Market」には日本として初出展し8社が参加、映像化を目指す出版物(書籍/電子書籍/脚本等も可)に関して52件の商談を実施しました。

【開催日】2020年10月26日(月)～30日(金)  
【会場】オンライン開催



### TIFFCOM企画ピッチ「VIPO Japanese Movie & Animation Pitching (JMAP)」

国際共同製作を目指す、日本の実写映画・アニメーションのプロデューサー10名による、英語でのピッチング映像を配信。各ピッチには、海外の映画祭企画マーケットの担当者や海外メジャーアニメーションスタジオのバイヤーからのコメント、フィードバックが付き、配信映像は124名が視聴。尚、10名の参加者には事前に全5回で英語ピッチトレーニングを実施しました。

【開催日】2020年11月4日(水) ※11月9日(月)までアーカイブ配信  
【会場】オンライン開催



## 「Asian Animation Summit (AAS)」企画ピッチ

アジアで最も本格的なアニメーションのピッチイベント(今年度9回目)に日本から初参加。共同製作や出資のパートナー探しに積極的な4人のプロデューサーが、1週間の集中メンタリングセッションを受けた後、ピッチを行いました。

【開催日】2020年11月16日(月)～27日(金)  
【会場】オンライン開催



## 北米TV業界丸わかり解説セミナー

日本IPの北米テレビシリーズ向け映像化およびリメイク化を促進するため、北米のTV業界についての理解を深めていただくことを目的に、アメリカのTV業界の全体像から、「米国における日本IPのニーズ」などを解説するセミナーを開催しました。参加者は115名。

【開催日】2020年11月27日(金)  
【会場】オンライン開催  
【登壇者】朽網泰匡氏(Amuse Group USA, Inc.)



## MIPCHINAセミナー

中国のコンテンツ業界関係者を対象に、日本コンテンツ市場規模・概況、そして、日本コンテンツの中国への進出事例等を紹介するセミナーを配信しました。

【配信期間】2020年11月24日(火)～2020年12月末  
【登壇者】分部悠介氏(弁護士、弁理士、IP FORWARDグループ総代表/CEO)

## GMS (Guild of Music Supervisors) セミナー「ハリウッド映画音楽監督に学ぶ! 映像&音楽のシンクロビジネスの現状とライセンス攻略法」

米国のミュージック・スーパーバイザーの組合GMS(Guild of Music Supervisors)からスピーカーを迎え、映像における音楽の効果的な売り込み方法、サブスクリプション・メディアの拡大における、映画と音楽のシンクロの最新事情などを解説するセミナーを実施しました。参加者は125名。

【開催日】2020年12月4日(金)  
【会場】オンライン開催  
【登壇者】ジョンサン・マクヒュー氏、ジョエル・C・ハイ氏(GMS: Guild of Music Supervisors)  
【協力】一般財団法人日本音楽産業・文化振興財団(JMCE)



## 「TTB (Ties That Bind)」紹介セミナー

実写プロデューサー育成プログラムである「TTB(Ties That Bind)」についての理解を深めていただき、より多くの日本の映画プロデューサーに応募、参加していただくことを目的に、紹介セミナーを開催しました。

【開催日】2021年3月9日(火)  
【会場】オンライン開催  
【登壇者】Christophe Bruncher氏(TTBプログラム責任者)、Alessandro Groppler氏(FVG AUDIOVISUAL FUND)、Tanika Sajatovic氏(EAVE)、筒井龍平氏(株式会社トリクスタ)、水野詠子氏(有限会社ローデッド・フィルムズ)、Stephan Holl氏(Rapid Eyes Pictures)



## 「Rotterdam Lab 2021」若手映画プロデューサー参加支援

ロッテルダム国際映画祭内で実施されるプロデューサー育成プログラム「Rotterdam Lab(ロッテルダムラボ)」に日本の若手映画プロデューサー3名の参加を支援。国際共同製作に関する各種講義やセッションに参加のほか、世界各国の映画関係者との個別ミーティングを実施しました。

【開催日】2021年1月25日(月)～2月5日(金)  
【会場】オンライン開催

## 「ロシアコンテンツマーケット ビジネスマッチング」

ロシアのVODプラットフォーム、ケーブルテレビ、ディストリビューターなど6社とアニメを中心とした日本のコンテンツ企業17社によるオンラインのミーティングを開催。ロシア・日本双方から参加する各企業の特性を精査し、マッチングの成功率を高めるためミーティング前に相互の企業情報を共有したことにより、効率的なマッチングの場を設けることができました。

【開催日】2021年2月25日(木)、26日(金)  
【会場】オンライン開催



## 「Kidscreen Summit Virtual 2021」ジャパンパビリオン出展

北米最大のキッズエンターテインメント産業見本市である「Kidscreen Summit Virtual」において、ジャパンパビリオンを出展。3度目の出展となる今年度は、初めてのオンライン開催となりました。子供・ティーン向けコンテンツの日本企業13社に海外マーケットへ作品を展開するための商談機会を提供しました。

【開催日】2021年2月8日(月)～3月5日(金)  
【会場】オンライン開催



## 「Berlinale Co-Production Market Visitors Programme (ビジターズプログラム)」

今年で18回目の開催となるEFM併設マーケット「Berlinale Co-Production Market Visitors Programme」に日本のプロデューサー5名の参加を支援。すべてのプログラムがオンラインでの開催の中、国際共同製作について国別でのパネルディスカッションやスピードマッチングを通して参加者はより知識を深めることができました。

【開催日】2021年2月26日(金)、3月1日(月)～5日(金)  
【会場】オンライン開催



## オンラインセミナー「海外の映像作品で自分の楽曲が流れるために、今すべきこと」

ハリウッド作曲家エージェントであり音楽プロデューサーの備氏をスピーカーに迎え、日本人として北米のコンテンツへ音楽の売り込みを行っている現場経験に基づき、日本の音楽制作者等に向けたアドバイスを行うセミナーを実施しました。参加者は149名。

【開催日】2021年3月19日(金)  
【会場】オンライン開催  
【登壇者】備 耕庸氏(TEDDIX MUSIC)  
【協力】一般財団法人日本音楽産業・文化振興財団(JMCE)



## 第13回日中韓文化コンテンツ産業フォーラム ※「TIFFCOM2020」と併催

日本・中国・韓国におけるコンテンツ産業のビジネスチャンス創出を目的とする国際会議。政府間会議では、新型コロナウイルスがコンテンツ産業に与えた影響やその後のコンテンツ産業の役割について議論が行われました。また、パネルディスカッション・セミナーでは、オンラインでの国際共同制作やヒットコンテンツについて、各国の有識者が講演しディスカッションが実施されました。

【開催日】2020年11月5日(木)  
【会場】オンライン開催



## アジア・コンテンツ・ビジネス・サミット (ACBS)

アジアにおけるコンテンツ産業の官民関係者を一堂に集めた、コンテンツ流通の促進を目的とする国際会議。「PROJECT 19」と題し、新型コロナウイルスを克服したアジア諸国の取り組みを、ショートフィルム/ドキュメンタリーという表現を通じて世界に向けて発信。また、「香港フィルマート」において、アジアのコンテンツ産業のデジタル化について、パネルディスカッションを実施しました。

【開催日】2021年3月18日(木)  
【会場】オンライン開催



## コ・フェスタ (JAPAN国際コンテンツフェスティバル) 2020

国内外の日本コンテンツに関わる多種多様なイベントを連携させ、海外へ効果的に情報発信するためのプロジェクトです。日本コンテンツに関わるイベントのネットワーク構築を行い、コンテンツを主軸としたオープン・イノベーションのあり方を検討し、国内外に向けて情報発信することで、日本コンテンツの市場拡大につなげることを目的としています。今年度はほとんどのイベントで初めてのオンライン開催を行いました。認定された36イベントが(内8イベントが開催中止、もしくは延期)参加しました。



# メディア芸術海外展開事業

文化庁 委託事業

## 日本のメディア芸術を、世界へ

優れたメディア芸術作品を海外へ発信するため、世界のメディア芸術関連フェスティバル／施設において、文化庁メディア芸術祭の受賞作品等の展示、上映、プレゼンテーション等を実施しています。年間を通じて企画展を複数回開催し、作家や専門家の現地派遣やオンラインでの情報発信、各映画祭でプログラムの上映を行い、2020年度は主にオンラインでの参加となりました。

### 1 企画展

#### ①「アヌシー国際アニメーション映画祭2020」(フランス)

##### 企画概要

映画祭のオンライン化を受け、本事業では映画祭の会期に合わせて特設WEBサイトを開設。短編アニメーションのストリーミング配信、スタジオやクリエイターへのインタビュー、注目作家の紹介などのコンテンツを発信しました。

- 企画テーマ：「ANIMATIONISM - All Creativity Welcomed -」
- 企画ディレクター：岡本美津子(プロデューサー／東京藝術大学副学長、同大学院映像研究科教授)

##### 企画内容

- スタジオ特集：①サイエンスSARU(チェ・ウニョン社長)②太陽企画(八代健志監督、及川雅昭プロデューサー)③スタジオ4℃(田中栄子社長)④TRIGGER(大塚雅彦社長)
- クリエイターインタビュー：①西見祥示郎(監督)②舛本和也(プロデューサー)
- Creator's File：①川尻将由②ぬQ③宮嶋龍太郎④山村浩二⑤八代健志⑥湯浅政明⑦舛本和也⑧西見祥示郎
- Creator's Q&A：①川尻将由②ぬQ③宮嶋龍太郎④山村浩二⑤八代健志
- 上映(ストリーミング配信)：
  - ①「ANIMATIONISM - All Creativity Welcomed -」収録作品：『CASTLE』(2019)宮嶋龍太郎／『ある日本の絵描き少年』(2019)川尻将由／『ゆめみのえ』(2019)山村浩二／『サイシュ〜ワ』(2019)ぬQ／『ノーマン・ザ・スノーマン〜北の国のオーロラ〜』(2013)、『劇場版ごん GON, THE LITTLE FOX』(2019)(予告)八代健志
  - ②「あにめたまご」収録作品：『カラフル忍者いろまき』(2016)／『風の又三郎』(2016)／『レベッカ』(2020)



#### ②「アルスエレクトロニカ・フェスティバル2020」(オーストリア)

##### 企画概要

齋藤精一氏をディレクターに迎え、「アルスエレクトロニカ賞 2020」の日本人受賞作品や第23回文化庁メディア芸術祭アート部門・エンターテインメント部門受賞作品をはじめとした作品やクリエイターを紹介。また、クリエイターのスタジオ取材した映像、メディアアーティスト、関係者によるトーク、ライブストリーミング・イベント等の様々なコンテンツをオンラインで発信しました。

- 企画テーマ：「TOKYO GARDEN」
- 企画ディレクター：齋藤精一(ライゾマティクス代表取締役／クリエイティブディレクター)

##### 企画内容

- ハイライト映像
- オンライン展示：①「Behind the scene of "Terminal Slam"」真鍋大度(Rhizomatiks)、清水憲一郎(Pele)／②「Black Aura Re-Reversal」ReKOGEI／③「Soundform No.1」Natura Machina(寛 康明／Mikhail MANSION／WU Kuan-Ju)／④「Air on Air」寛 康明、赤塚大典、藤井樹里、吉川義盛、Joung Min Han／⑤「Lenna - Sound Installation for Personal Computer」細井美裕／⑥「シナスタシア・ガーデン」山城大督／⑦「Last Words / TypeTrace」dividual inc. (ドミニク・チェン／遠藤拓己)／⑧「Shadows as Athletes (short version)」佐藤雅彦、佐藤 匡、石川将也、貝塚智子／⑨「落合陽一×日本フィル VOL.3(耳で聴かない音楽会2019/交錯する音楽会)」日本フィル、落合陽一、海老原 光、江原陽子、WOW、成瀬一裕、TBWA\HAKUHODO チーム／⑩「未知への追憶 - イメージと物質 II 計算機と自然 II 質量への憧憬」落合陽一
- スタジオツアー：①ユーフラテス(出演：佐藤雅彦、佐藤 匡)②東京大学 寛 康明研究室(出演：寛 康明)
- トークカンファレンス：①「日本メディアアート史を遡る」モデレーター：畠中 実、齋藤精一 登壇者：長谷川 愛、後藤映則、古舘 健、津田道子
- ②「ネットワークの中のミュージアム再訪」モデレーター：畠中 実、齋藤精一 登壇者：久保田晃弘、八谷和彦、江渡浩一郎、四方幸子
- ③「メディアアート以後の社会における、その役割を考える」モデレーター：戸村朝子、畠中 実 登壇者：市原えつこ、徳井直生、和田夏実、福原志保



#### ● ライブストリーミング・イベント：

- ①「Vocalise」細井美裕／②「SUPER DOMMUNE tuned by au 5G Presents "TOKYO REAL"」
- 【第1部】「DOMMUNE Presents Anatomical Tables of EI WADA」
- トーク：宇川直宏 (DOMMUNE)、和田 永
- 【第2部】「DOMMUNE Presents "EXTREME REAL TOKYO" with BLACK SMOKER RECORDS」
- トーク：宇川直宏、齋藤精一 パフォーマンス：山川冬樹、ZVIZMO (テンテンコ、伊東篤宏)
- ③「Rhizomatiks presents PLAYING TOKYO Vol.09 "Special Edition"」
- 【第1部】トーク：齋藤精一、カールステン・ニコライ、阿部一直、マルコ・ペリハン、四方幸子
- 【第2部】DJ：真鍋大度、VJ：Rhizomatiks

- 連携企画：①Yamaguchi Garden/YCAM Garden of Threads/山口情報芸術センター ②#JapanRevisited202x/オーストリア文化フォーラム

#### アルスエレクトロニカ公式サイト

TOKYO GARDEN特設サイトや各展示作品、トーク、ライブストリーミング配信等のイベントが紹介されました。

#### ③「マンガ・バルセロナ リミテッドエディション」(スペイン)

##### 企画概要

本事業では、フェスティバルとの連携特設サイト、「Manga, diversidad e inclusión」(マンガ、ダイバーシティ・アンド・インクルージョン)を2か国語で制作、公開しました。企画ディレクターには、バルセロナ在住のマンガ研究者・翻訳家であるマルク・ベルナベ氏を迎え、企画テーマを元に、日本マンガの多様性を示す6作品を紹介。また、オンラインイベントとして、作品を展示紹介した人気マンガ家による、Q&Aセッションやライブドローイング等のプログラムを配信しました。

- 企画テーマ：「Manga, diversity and inclusion(マンガ、ダイバーシティ・アンド・インクルージョン)」
- 企画ディレクター：マルク・ベルナベ(翻訳家、通訳、DARUMA代表／日本マンガ学会、スペインコミック学会所属／FICOMIC(マンガ・バルセロナ主催団体)文化アドバイザー)

##### 実施内容

- 企画ディレクターのビデオメッセージ
- オンライン展示(特集)：『メタモルフォーゼの縁側』鶴谷香央理
- オンライン展示(作品展示)：①「ロボ・サビエンス前史」島田虎之介／②「健康で文化的な最低限度の生活」柏木ハルコ／③「ブレッドガール 片脚のランナー」重松成美／④「しまなみ誰ぞ彼」鎌谷悠希／⑤「弟の夫」田亀源五郎
- オンラインイベント(モデレーター：マルク・ベルナベ)：①「鶴谷香央理インタビュー」②「鶴谷香央理マスタークラス」(ライブドローイング、Q&A)③「田亀源五郎Q&Aセッション」

##### 追加オンラインプログラム

- ①「島田虎之介トークセッション」(ゲスト：島田虎之介、ホセ・アンドレアス・サンティアゴ(ヴィーゴ大学 博士研究員)、パウラ・マルティネス・シレス(日本大学 国際関係学部 助教))、②「重松成美トークセッション」(ゲスト：重松成美、デジレー・ヴィラ・バルヒエラ(パリンピック/スペイン代表)、シェイラ・マルチラン(少女マンガ研究者))



### 2 上映参加

4つのプログラムを世界7会場(オンライン含む)にて上映しました。

#### 上映プログラム

- ①「第23回文化庁メディア芸術祭受賞作品集」：合計4回上映
- ②「ANIMATIONISM - All Creativity Welcomed -」：合計6回上映(オンライン配信含む)
- ③「水尻自子特集」：合計4回上映
- ④「あにめたまご」：合計3回上映(オンライン配信のみ)

#### 参加フェスティバル

- ① アヌシー国際アニメーションフェスティバル2020/フランス(2020年6月15日～30日)
- ② ウォーターピーシーズ/ラトビア・リガ(2020年7月1日～10月31日)
- ③ iSTART Children's Art Festival by A4 Art Museum/中国・成都(2020年9月26日～12月6日)
- ④ Art Park Zagreb /クロアチア・ザグレブ(2020年8月28日～8月30日)
- ⑤ ANIMAFEST ZAGREB/クロアチア・ザグレブ(2020年9月28日～10月3日)
- ⑥ Microwave International New Media Arts Festival/中国・香港(2020年10月30日～11月15日)
- ⑦ MADATAC (CONTEMPORARY FESTIVAL OF NEW MEDIA ARTS AND ADVANCED AUDIOVISUAL TECHNOLOGIES) /スペイン・マドリッド(2020年11月16日～11月22日)

## 文化芸術収益力強化事業

新規事業

文化庁 委託事業

本事業は、コロナ禍以降の文化芸術団体等の収益機会の減少の経営危機的な状況を受け、事業構造や制作・表現等の手法改革による収益力強化の方策検討を目的としています。音楽・伝統芸能・映画・メディア芸術を対象分野として、各分野の特性を活かした新しい収益確保・強化策について「モデル事業(提案事業)」で模範となる事業を提示し、「公募事業」で広く実証的な実践、事業評価を行いました。

「モデル事業(提案事業)」・「公募事業」共に、音楽・伝統芸能・映画・メディア芸術を対象分野として、各分野の特性を活かした新しい収益確保・強化策について、以下の2つのいずれかに当てはまる事業を対象としました。

### 対象事業

- ① ライブハウス・ミニシアター等と連携した公演等収録・上映・イベント・配信等(対象分野:音楽・映画・メディア芸術)
- ② 新しい鑑賞環境の確立による将来的な鑑賞者の拡充に資する制作・表現等モデルの創造(対象分野:伝統芸能・映画・メディア芸術)

### モデル事業(提案事業)

ライブハウス・ミニシアターと連動での価値拡大モデル、伝統芸能の教材化、非接触型展示方法の提案、新しい表現モデルの構築といったテーマをパートナー企業と実践し、同じく文化芸術団体等の収益力強化の方策検討を目的とする公募事業のモデルとしての役割も果たします。そして、本事業で得られた成果を活用し、費用対効果を検証することで、今後の文化芸術団体等の持続的な活動の指針となることを目的としています。

### 全国ライブハウスからの最新ライブ映像が一挙に視聴できる配信プログラム「CLUB ONLINE JAPAN」

全国のライブハウスで活躍する、次代を担うニューカマーたちの最新ライブ映像を一挙に配信し、ソニー・ミュージックが開催するオンライン上の大型フェス「TES 20/21」と連動して強力に発信。



### 越島 ~ 地域文化に根ざした音楽ドキュメンタリー映像の新たな配信施策

アーティストがある地域を訪れ、滞在して楽曲を制作し、ライブを行う様子までを音楽ドキュメンタリー映像として収録し、配信。  
(写真:大森克己)



### トーク・イベント等の実施と配信によるミニシアター・コミュニティとオンライン・プラットフォームの形成

全国のミニシアターとイベント登壇者をオンライン・ツールで繋ぎ、トーク、レクチャーや、往年の日本映画上映に合わせた浪曲イベント等を実施。



### 主要都市ライブハウスでの「空間総合芸術」エンターテインメントショーの生配信 米米CLUB「自由の扉」

米米CLUBの生配信コンサートをライブハウスで! 米米CLUBがオリジナル映像を駆使して行うコンサートを東・名・阪のライブハウスに生配信。タイトルは「自由の扉」。



### 伝統芸能に関する教育用映像コンテンツ「はじめての歌舞伎」

コロナ禍により失われた生の芸術鑑賞の機会を補うため映像コンテンツを製作。伝統芸能である歌舞伎に触れる機会を増やすことを目的とした歌舞伎鑑賞教室と英語字幕入りの映像コンテンツを製作し、配信。



### オンライン展開を主としたメディア芸術の表現モデル「YAKUSHIMA TREASURE ANOTHER LIVE from YAKUSHIMA」

水曜日のカンパネラのコムアイとオオルタイチによる、屋久島で生まれたユニット「YAKUSHIMA TREASURE」。2019年に行ったライブパフォーマンスを、Dentsu Craft Tokyoとのコラボレーションにより、VR等を活用した新しい音楽体験にアップデート。



©YAKUSHIMA TREASURE

### デジタル技術を使った新たな非接触型展示「羅生門展」

黒澤明「羅生門」を最新技術を用いて分析し、非接触型展示方法の提案等を東京と京都で開催。



### オフライン・オンライン双方向に対応するメディアパフォーマンス等の表現構築「border 2021」

ライゾマティクス・リサーチ他が行った2015年の作品「border」での試みを発展・アップデートさせ、COVID-19以降の鑑賞環境、オンライン/オフライン双方対応の表現モデルを構築。



©rhizomatiks.elevenplay

### 公募事業

モデル事業の取組を参考として収益力強化を図る文化芸術団体の公募を実施いたしました。ライブハウス・ミニシアター等との連携による芸術やエンタメ分野の新たなビジネスモデルの創造に該当する、各分野の特性を活かした新しい収益確保・強化策を実践する事業を公募いたしました。

#### 主な活動内容

- 交付金の対象や申請方法などを紹介する「オンライン説明会」を開催し、合計約400名の参加がありました。
- 申請を検討する事業について、メールで相談を随時受け付けました。
- 交付決定を受けた事業者を対象に、交付を受ける経理の処理方法についての基本的なルール説明等を行う「事業開始オリエンテーション」を開催しました。
- 交付決定した全案件について、事業検査、経理検査、交付額の確定作業、および支払いを行いました。

#### 交付結果

- 2020年10月の公募、2021年2月までの事業実施期間において

交付決定件数

70件

### ARTS for the future! (コロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動の充実支援事業)

新規事業

文化庁 委託事業



新型コロナウイルスにより、文化芸術活動の自粛を余儀なくされた文化芸術関係団体が実施をする公演、演奏会、コンサート、ライブ、展覧会等について、文化芸術活動のイノベーションや持続可能性の強化に資する取り組みを合わせた積極的な活動を行う事業について支援する補助金、その事務局運営業務を受託。

## Netflix 映画・テレビドラマ制作従事者支援基金

新規事業

Netflix 委託事業

本事業は、Netflixが設立した「Netflix 映画・テレビドラマ制作従事者支援基金」により、日本国内の映画やテレビ番組の制作従事者の生活支援を目的とするもので、VIPOは運営事務局を担当しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、世界中で数多くの映画やテレビドラマの制作が延期、もしくは停止を強いられる状況を受け、Netflixは日本国内の映画・テレビドラマ制作に従事する方々の中でも極めて生活への影響が大きい方々を短期的に支援することを目的とした支援基金「Netflix 映画・テレビドラマ制作従事者支援基金」をVIPO内に設立し、VIPOは、募集から支給までの事務局業務を受託いたしました。なお、Netflixは本基金設立にあたり、2020年3月に発表したクリエイティブ業界を支える目的で設立された支援基金より約1億円をVIPOに拠出しました。

2020年5月28日に本基金への募集を開始し、要件を満たした申請者1,000名以上の方に、支援金10万円の給付を行いました。

## 東京都コンテンツ活用促進事業

東京都 委託事業

VIPOは、東京都令和2年度予算「コンテンツ活用促進事業」の実施運営等を受託し、コンテンツ産業の発展と他産業との交流を促し、コンテンツ活用の裾野を広げていくことを目的に、「コンテンツ活用促進セミナー&コンテンツ企業×異業種企業マッチング交流会」をオンラインにて開催しました。

- 開催日** 2020年12月9日(水)、10日(木)  
**参加者** 52名(内、コンテンツ企業24社、異業種15社)  
 ●コンテンツ企業:映像、アニメ、ゲーム、アプリ、音楽、キャラクター、WEB、ICT、VR等  
 ●異業種企業:製造、医療・福祉、教育、商店街、小売等分野

### 「マッチング交流会」の開催

各企業から参加申し込み時にご提出いただいたエントリーシートを基に、事前にマッチングスケジュールを組み、オンライン商談室を用意。約120件のコンテンツ企業×異業種企業のマッチングを実施しました。

### 「コンテンツ活用促進セミナー」の開催

コンテンツ企業と異業種企業のコラボレーションに必要なノウハウや成功事例に関するセミナーを実施しました。

- 1 開催日** 12月9日(水) 10:30~11:00  
**テーマ** 『アニメ・マンガ・キャラクターを活用した「ものづくり」ビジネス成功のポイント ~コロナ禍を生き抜く、異業種との新しい協業チャレンジへ~』  
**2 開催日** 12月9日(水) 11:30~12:00  
**テーマ** 『「アニメでPR!」の前に、捨ててほしい3つの偏見 ~体当たりで切り拓く地域 × アニメの現場から~』



## 大型映像作品ロケーション誘致の効果検証調査

内閣府 委託事業

### < 事業内容 >

本事業では、外国の大型映像作品のロケ誘致の実例を創出し、地域経済の振興等にどの程度の費用対効果があるか、今後、日本が継続的に外国映像作品のロケ誘致を進める上でどのような課題があるか、定量的、定性的な分析を行うための実証調査を行いました。

今年度は、内閣府知的財産戦略推進事務局からの委託事業において、予算/配給ともに世界規模の大作である映像作品を日本にロケ誘致することが可能となり、雇用創出・産業振興・人材育成・インバウンド・観光誘客といった効果を調査することができました。

また、海外各国では、経済的/社会的効果が期待できる外国大型映像作品のロケ誘致を、様々な支援と共に積極的に進めています。具体的にどのような支援事項があるか、イギリス・台湾・ハワイ・シンガポール・韓国を対象にインセンティブ制度の実態の調査を行いました。そしてこの調査が、近い将来の日本でのインセンティブ制度の導入に向けて有益となることを目指しました。



新型コロナウイルスの影響により各国の映画祭はオンライン開催へとシフトしたため、国際映画祭の公式サイトに広告を出稿

## 全国ロケーションデータベースの利用促進のための調査研究

文化庁 委託事業



本事業では、全国各地のフィルムコミッションが持つロケーション情報を一括検索できるシステム「全国ロケーションデータベース(JL-DB)」の充実化を軸に、そのデータベースを活用した映像作品の日本各地域への誘致や、国内外作品のロケーションに関わるさまざまな支援を行う地域のフィルムコミッションの体制強化等を目的としています。VIPOとジャパン・フィルムコミッション(JFC)\*がコンソーシアムを形成し、共同で事業の実施/運営を行いました。

\*ジャパン・フィルムコミッション(JFC): 国内120以上のフィルムコミッション(FC)のネットワーク組織であり、世界およびアジアのFCネットワークの会員でもある。

### < 主要事業内容 >

#### JL-DBシステム改修のための調査業務およびシステム構築等に関する業務

「全国ロケーションデータベース(JL-DB)」のシステム改修を通じてJL-DBの利用促進を行うべく、現行システムの機能見直し、新システムに必要な機能や項目に関する調査を実施。各地のフィルムコミッション(FC)が少ない手間でも情報更新ができるよう、また、制作者が必要な情報および活用しやすいような操作性を考慮して、JL-DBの利用促進に向けた旧機能の見直しと新規に必要な機能や項目を洗い出し、システムの改修方針を検討し、要件に追加しました。そして新システムの設計、構築、切替作業を行い、新システムの運用を開始しました。

## JL-DB登録データ充実のための調査等に関する業務

「全国ロケーションデータベース(JL-DB)」のコンテンツ(登録データ)について、地域のフィルムコミッション(FC)が持つ国内ロケ地や関連情報のさらなる充実化を図るとともに、他データベースとの連携促進、国内での海外作品製作の支援実績や問題点等の調査を実施。JL-DBが、国内のロケ撮影に関する一元的窓口サイトとして、より活用しやすい魅力的なデータベースとなることを目標としました。

## JL-DBを通じた海外に向けた効果的な情報発信に関する調査

世界からの日本への関心がますます高まっている好状況を活かし、JL-DBがロケ地を探す海外映像制作者にとってより便利なツールとなるよう、海外からのアクセスの最適化、アクセス向上の調査と調査結果を反映させ、作業を実施。また、国内のロケ受入れ体制強化のため、海外映像制作者を招いたセミナーの開催や、「全国ロケ地フェア」での新JL-DBのPRのほか、利用促進につなげる調査等を幅広く行いました。

## 各フィルムコミッション(FC)への支援強化

全国のロケ地情報を持ち、JL-DBのコンテンツ充実化に大きな役割を担う各地域のフィルムコミッション(FC)の業務は、実際の国内外のロケ撮影の対応等により極めて多忙です。広範囲においてフィルムコミッション活動やロケ撮影支援をフォローするスタッフを、エリアマネージャーという位置づけで試験的に配置し各地域のフィルムコミッションの支援強化を行いました。

## < 関連イベント情報 >

### ◆ 海外映像制作者の話が直接聞ける! 「海外制作者セミナー」

- 開催日時: 2021年3月3日(水)
- 会場: オンライン

海外からゲストスピーカー2名を迎え、これまでに携わったハリウッドやアジアの作品に関連したロケーション、各地域のフィルムコミッション(FC)との関わり、そして、コロナ禍での映像制作業界を取り巻く世界的な状況等について、豊富な知識と経験を基に語っていただきました。また今年のセミナーは、ゲストスピーカーと日本の参加者とをオンラインで繋いでの開催となりました。



### ◆ 「JFC全国ロケ地フェア2021」開催

- 開催日時: 2021年2月26日(金)
- 会場: 東京都 時事通信ホール

「全国ロケーションデータベース(JL-DB)」のメインコンテンツの一つ「ロケ地情報」にフォーカスし、全国のフィルムコミッションが一堂に会し、撮影支援のご相談を直接お受けするマッチングイベントを開催しました。新JL-DBシステムの認知を上げるべく、会場内には専用ブースを設置し、JL-DBのPRも実施しました。



## 海外向けオンライン出版コンテンツカタログサイト「Japan Book Bank」事業

新規事業

経済産業省 補助事業

「Japan Book Bank」は、日本の出版コンテンツの翻訳出版に興味を持つ海外の出版社や、映像化を希望する映像制作会社やプロデューサー向けに構築した日本の出版コンテンツを検索できるウェブサイトです。日本の書籍・出版コンテンツと海外の出版コンテンツ関連企業等をマッチングさせ、日本の出版コンテンツの海外展開を促進することを目的としています。

## 「Japan Book Bank」でできること

● **オンラインカタログとして出版コンテンツの検索がいつでも可能**  
以下に分類される幅広いジャンルでの日本の出版コンテンツを日本語/英語で検索することができます。

- ・文芸      ・文庫/新書      ・実用書
- ・コミック      ・児童書/絵本      ・ビジネス書 他 (全16ジャンル)

### ● 言語別版権許諾情報を掲載

商談前に本サイトを利用することで、効率の良い商談が可能となります。 ※ 版権情報は、IDを登録した海外出版社にのみ公開されます。



<https://japanbookbank.com/>

### ● 指定した窓口にて問い合わせを受信

メールアドレスを開示せずに海外からの問い合わせを受けることができます。 ※ IDを登録した海外出版社のみ問い合わせが可能となります。

### ● 「映像化の原作」としてアピール

トップページの特集等を活用し、映像化の原作として海外の出版社、映像制作会社やプロデューサーに効果的に発信することが可能です。

文芸書、特に「小説」の海外展開を強化中!  
自社出版物の登録をご希望の方は、気軽にVIPOまでお問い合わせください。

\*「Japan Book Bank」は、映画、テレビ番組、アニメ、キャラクター、音楽、ゲーム、脚本、ロケ地情報、クリエイターなどのデータベース一括検索システム「Japan Content Catalog」(japancontentcatalog.jp、通称:JACC®)と連携しています。

※登録商標「JACC」は、当機構が株式会社ITSCから承諾を得て使用しています。

## VIPO Integrated Support System (VISS)

経済産業省 補助事業

VIPO Integrated Support System(略称:VISS)は、日本のコンテンツ事業者の海外展開をサポートするためのリスト類です。現在のVISSは、以下の8つのリストで構成されています。

- 1 バイヤーズリスト、
  - 2 海外イベントリスト、
  - 3 ローカライズ事業者リスト、
  - 4 商品化エージェントリスト、
  - 5 発信事業者リスト、
  - 6 国別共同製作支援制度情報、
  - 7 国別表現規制情報、
  - 8 中国コンテンツ関連契約書雛形集
- 今年度、新たに8中国コンテンツ関連契約書雛形集が追加されました。

海外展開に課題を抱えている会社をサポートするためにVISSの情報を活用しています。

## 国際マッチングサイト 「Japan Creator Bank」

経済産業省 補助事業



<https://japancreatorbank.com/>

Japan Creator Bankは、日本のエンターテインメント業界で活躍している日本のトップクリエイターを検索できるウェブサイトです。本サイトには、海外での仕事に強い興味と意欲を持っている日本のクリエイターが登録されています。Japan Creator Bankには、検索機能だけでなく問い合わせ機能も実装されていますので、本サイト上で仕事の相談・依頼等を行うことが可能です。日本のクリエイターと一緒に仕事をするをお考えの方々にとっては大変便利な検索サイトです。Japan Creator Bankでは、以下の日本のクリエイターを日本語/英語/中国語で検索することが可能です。

脚本家	監督	俳優
<p>映画やドラマ等で活躍し、実績のある日本の脚本家を紹介しています。</p> <p>—— 問い合わせ可能な内容 ——</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>映画やドラマ等の脚本制作 (海外制作、国際共同製作を含む)</li> <li>イベント等への出演・登壇等</li> </ul>	<p>映画やドラマ等で活躍し、実績のある日本の監督を紹介しています。</p> <p>—— 問い合わせ可能な内容 ——</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>映画やドラマ等の映像制作 (海外制作、国際共同製作を含む)</li> <li>イベント等への出演・登壇等</li> </ul>	<p>映画やドラマ等で活躍している日本の俳優を紹介しています。</p> <p>—— 問い合わせ可能な内容 ——</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>映画やドラマ・TV番組等への出演、オーディションへの参加等</li> <li>イベント等への出演・登壇等</li> </ul>
声優	作曲家	映画プロデューサー
<p>アニメやゲーム等で活躍している日本の声優を紹介しています。</p> <p>—— 問い合わせ可能な内容 ——</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アニメやゲームへの声の出演、海外言語の吹き替え等</li> <li>イベント等への出演・登壇等</li> </ul>	<p>アニソン業界を中心に活躍している日本の作曲家を紹介しています。</p> <p>—— 問い合わせ可能な内容 ——</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海外コンテンツへの楽曲提供</li> <li>イベント等への出演・登壇等</li> </ul>	<p>映画で活躍し、実績のある日本のプロデューサーを紹介しています。</p> <p>—— 問い合わせ可能な内容 ——</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>映画等のプロデュース (海外制作、国際共同製作を含む)</li> <li>イベント等への出演・登壇等</li> </ul>

### 新たに企画書閲覧機能を追加

映像化を希望するオリジナル企画が日本語と英語で登録されており、ユーザーは会員登録なしで企画書の簡易版の閲覧が可能に。日本シナリオ作家協会や日本放送作家協会の協力により、現在、ドラマや映画などで活躍する現役脚本家の企画書は50本以上。今後定期的な企画書の掲載本数を増やし、監督やプロデューサーなど脚本家以外のクリエイターからの企画書の掲載も予定。



<https://japancreatorbank.com/ja/proposal/>

## JAPACON

自主事業



下記のサイト等を中心に情報発信を行いました。  
JAPACON SNSページ (<https://www.facebook.com/japancontent/>)

JAPACONは下記に掲げる3項目を目的に活動しています。

1. 海外へのコンテンツ流通の促進
2. クールジャパン情報の海外発信
3. 全国の良質なコンテンツの海外への発信

## Japan Content Catalog (JACC®)

経済産業省 補助事業

Japan Content Catalog (略称:JACC®)は①映画、②テレビ番組、③アニメ&キャラクター、④音楽、⑤ゲーム、⑥脚本、⑦ロケ地情報、⑧クリエイター、⑨書籍などの各コンテンツジャンルで構築したデータベースを一括検索システム「JACC®サーチ」でつなげ、コンテンツの基本情報や問い合わせ窓口情報を横断的に検索することができるデータベースプロジェクトです。

JACC®は英語にも対応しており、日本のコンテンツホルダーと国内外のバイヤーとのマッチングを促進しています。「JACC®サーチ」の対象となるデータベースは以下の9つで、2021年4月1日現在、英語での掲載コンテンツ総数は約100,000件です。一部は中国語(簡体字)にも対応しており、その掲載コンテンツ総数は約6,000件です。



<p><b>一括検索機能</b></p> <p><b>JACC®サーチ</b> 運営：特定非営利活動法人映像産業振興機構、株式会社角川アスキー総合研究所 <a href="http://japancontentcatalog.jp">http://japancontentcatalog.jp</a></p>	<p><b>①映画</b></p> <p><b>JFDB</b> Japanese Film Database 日本映画データベース (略称:JFDB) 運営：公益財団法人ユニジャパン <a href="https://jfdb.jp">https://jfdb.jp</a></p>
<p><b>②テレビ番組</b></p> <p><b>Japan Program Catalog</b> 運営：一般社団法人放送コンテンツ海外展開促進機構 <a href="https://www.japan-programcatalog.com/">https://www.japan-programcatalog.com/</a></p>	<p><b>③アニメ&amp;キャラクター</b></p> <p><b>Anime Chara DB</b> 運営：一般社団法人日本動画協会 <a href="http://animecharadb.jp">http://animecharadb.jp</a></p>
<p><b>④音楽</b></p> <p><b>SYNC MUSIC JAPAN DATABASE</b> 運営：一般社団法人融合研究所 <a href="https://syncmusic-artists.jp">https://syncmusic-artists.jp</a></p>	<p><b>⑤ゲーム</b></p> <p><b>FOYER GAME for JACC</b> 運営：株式会社IMAGICA Lab. <a href="https://jcc-game.foyer-online.com">https://jcc-game.foyer-online.com</a></p>
<p><b>⑥脚本</b></p> <p><b>脚本データベース</b> 運営：一般社団法人日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアム <a href="http://db.nkac.or.jp">http://db.nkac.or.jp</a></p>	<p><b>⑦ロケ地情報</b></p> <p><b>JL-DB JAPAN LOCATION DATABASE</b> 全国ロケーションデータベース (略称:JL-DB) 運営：文化庁 <a href="https://www.jldb.bunka.go.jp">https://www.jldb.bunka.go.jp</a></p>
<p><b>⑧クリエイター</b></p> <p><b>Japan Creator Bank</b> 運営：特定非営利活動法人映像産業振興機構 <a href="https://japancreatorbank.com/">https://japancreatorbank.com/</a></p>	<p><b>⑨書籍</b></p> <p><b>Japan Book Bank</b> 運営：特定非営利活動法人映像産業振興機構、一般社団法人日本書籍出版協会 <a href="https://japanbookbank.com/">https://japanbookbank.com/</a></p>

※登録商標"JACC"は、当機構が株式会社ITSCから承諾を得て使用しています。

## 令和2年度アーカイブ 中核拠点形成モデル事業 (撮影所等における映画関連の非フィルム資料)

文化庁 委託事業

歴史的、文化的価値のある日本の貴重な文化関係資料(撮影所等における映画関連の非フィルム資料\*)が散逸・消失することのないようアーカイブの構築に向けた資料の保存および活用を図るため、当該分野のネットワーク化を推進し、分野全体のアーカイブ運営や共同利用の促進等を目的としています。

\*非フィルム資料: 脚本、ポスター、スチル等のフィルム以外の映画関係資料

### ネットワークの構築

▶ 昨年度に続き、映画資料の保存／活用のための基本知識の共有、映画資料に係る関係者のネットワーク構築を目的に、オンラインにて「全国映画資料アーカイブサミット2021」を開催しました。また、中核団体および検討委員と情報交換を行うほか、アーカイブの手法やデータベースの活用について検討しました。

### 現地調査研究

▶ 調査範囲を関西から関東に広げ、角川大映スタジオ、日活調布撮影所、調布市立図書館、調布市郷土博物館など、調布地区における映画資料の所在調査を行いました。また、「全国映画資料館録2020」を発行しました。同2015年版をもとに国立映画アーカイブと共に改訂し、文学館や公共図書館などを加えた映画資料所蔵館・計68館を掲載しました。

### データベース構築

▶ 「映画資料所在地情報検索システム(JFROL)」を構築し、ベータ版を限定公開しました。同システムでは東映太秦映画村(京都)と松竹大谷図書館(東京)のデータベース連携に加え、一部映画資料のデジタルアーカイブ化素材を搭載し、両館の所蔵資料の横断検索を可能にする実証実験を行いました。

### < イベント開催 >

「全国映画資料アーカイブサミット2021」

時世の問題を織り交ぜながら、映画資料の保存・活用のための基礎知識をテーマに、映画資料の理解を深めることを目的に開催。

【日 時】2021年3月2日(火) 10:00～18:00 【場 所】ライブ配信(主会場VIPO会議室R) 【参加者】約200名 【参加費】無料

【プログラム】

文化庁の挨拶

- 1 セミナー「映画資料の魅力～映画宣材は如何にして生まれるか?」  
講師：元松竹株式会社宣伝部長 幸田順平氏、聞き手：国立映画アーカイブ 主任研究員 岡田秀則氏
- 2 セミナー「展示キュレーション～映画資料の持つ可能性を拓く」  
講師：公益財団法人川喜多記念映画文化財団(鎌倉市川喜多映画記念館専任担当) 増谷文良氏
- 3 セミナー「『羅生門展』に見る映画資料のデジタル展示について」  
講師：株式会社アイ・ティー・ワン 代表取締役社長 野久尾智明氏、聞き手：榎田寿文(VIPO)
- 4 セミナー「映画資料のアーカイブと公開に関する権利処理と最新動向」  
講師：骨董通り法律事務所 弁護士(日本・ニューヨーク州) 福井健策氏
- 5 シンポジウム「映画資料をめぐる現状とその課題～全国ネットワーク化に向けて」  
モデレーター：国立映画アーカイブ 主任研究員 岡田秀則氏／パネリスト：東映京都スタジオ 特別顧問 山口記弘氏、調布市立中央図書館 調査支援係主任 須川綾子氏、神戸映画資料館支配人／NPO法人プラネット映画保存ネットワーク専務理事 田中範子氏



## VIPOインタビュー

2016年からスタートした、VIPOインタビューシリーズ。コンテンツ業界の旬なトピックやイベント、VIPO主催のアカデミーやプロジェクト等をテーマに、さまざまな方にインタビュー。また海外で活躍されている識者の方をお招きしてのセミナーなどを記事化し、公開いたしました。2020年度は新型コロナウイルス感染リスク拡大防止により、ほとんどの活動をオンラインで行いました。  
(掲載先 <https://www.vipo.or.jp/interview/list/>)

- 2020年5月 「エンターテックがカルチャーを作る ～デジタルの進化とエンタメメーカーの役割～」  
環境の変化が激しいエンタメ業界において、今後マーケティングをするにあたりどのようなことに着目していけば良いのか?をメインテーマに、VIPO主催の「エンタメメーカー養成講座」の講師であるParadeAll株式会社 代表取締役/エンターテック・アクセラレーター 鈴木貴歩氏にインタビュー。
- 2020年7月 「香港貿易発展局の東京事務所に直撃! 今、知っておくべきコンテンツビジネスにおける香港の活用方法」  
中国の中でも独立した文化や考え方を有する香港。共同製作や協業を行うにあたり、数多くの実績を持つ香港と日本のコンテンツ業界はどのようにつながると効果的なのか?など、香港貿易発展局 東京事務所の伊東正裕氏とマーケティング・マネージャーのヘンリー・リー氏にインタビュー。
- 2020年9月 「ベルリン国際映画祭[European Film Market / Berlinale Co-Production Market] ～各マーケットの概要、日本から参加することのメリットとは～(紹介セミナーから再構成)」  
両マーケットがオンラインで開催されるにあたり、EFMのディレクター Matthijs Wouter Knol氏とBerlinale Co-Production Market代表 Martina Bleis氏より、日本からの参加のポイントなど解説いただいたセミナーを記事化。
- 2020年9月 「書籍にとどまらず多彩なIPが集まる世界最大級の見本市[フランクフルト・ブックフェア 2020]が初のオンライン開催に——ドイツ政府の助成により参加無料!」  
ブックフェアのオーガナイザーであるHolger Volland氏とBeatrice Stauffer氏より、フェアや併設マーケットの「THE ARTS+」の特長や参加のポイントなど解説いただいたセミナーを記事化。
- 2020年10月 「プロデューサー養成ラボ[Rotterdam Lab]——私たちが5日間で学んだこと、これからのに向けて!」  
「ロッテルダム国際映画祭」の企画マーケット「CineMart(シネマート)」が運営する「Rotterdam Lab(ロッテルダムラボ)」に、派遣された実績のある新進プロデューサー3名による参加報告会&紹介セミナーを記事化。
- 2020年11月 「担当者の熱意が会社を動かす——日本レコード協会 重村会長が語る360度ビジネスと人材育成の秘訣」  
VIPOアカデミー「コーポレートリーダーコース」講演会の内容を記事化。  
一般社団法人日本レコード協会 会長 重村博文氏が登壇。
- 2020年12月 「内閣府に聞く——新型コロナウイルスがコンテンツ業界にもたらした社会的変化とニューノーマル」  
価値観や行動、生活様式が変化した2020年。今後のコンテンツ業界の在り方や新しい可能性についてなど、内閣府 知的財産戦略推進事務局 田中茂明氏にインタビュー。
- 2021年1月 「世界最大級のコンテンツマーケット[MIPCOM 2020]が昨年オンラインで開催——その概要とオンラインによるメリットとは(紹介セミナーより再構成)」  
国際的な見本市を長年開催しているリード・ミデム社のマーケット開発ディレクター Ted Baracos氏より、オンラインマーケットならではの特性、参加のメリットなど解説いただいたセミナーを記事化。
- 2021年2月 「ハリウッド映画音楽監督に学ぶ!GMSが教える音楽プレイスメントのあり方とは(紹介セミナーより再構成)」  
今後、注目が高まる映像&音楽シンクロビジネスについて、ハリウッド映画業界で活躍する音楽監督組合 Guild of Music SupervisorsのJonathan Mchugh氏とJoel C High氏より音楽の効果的な売り込み方や最新事情など解説いただいたセミナーを記事化。
- 2021年3月 「ストップモーションアニメーション作家・村田朋泰さんが語る——海外には自分の作品をキャッチしてくれる人がいる!」  
2018年「アヌシー国際アニメーション映画祭」での特集上映や、2019年「ジャパン・ソサエティ」(NY)で特別上映されるなど、作品が海外で注目されるストップモーションアニメーション作家・村田朋泰氏に作家に必要なサポートや今後の作品作りなどについてインタビュー。